

令和二年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人あゆみの会

1. 総 論

(1) 法人の保育について

令和二年4月1日、企業主導型保育所となりのすまいる保育園、川越市認可保育園高階すまいる保育園が開園、既存園と合わせ5園全体で、約150名の職員により約300名の園児の保育を行うこととなった。

1) 新園の開園（令和2年4月1日）について

● となりのすまいる保育園

本年度開園した企業主導型保育所となりのすまいる保育園は三丁目すまいる保育園に隣接しており、法人内で様々な相乗効果を生んでいる。当法人職員であれば優先して入園できるため入職、産休・育休の際も保育園の心配をせずに就労が可能となった。また三丁目すまいる保育園（0歳児～2歳児）卒園後の連携施設として同園卒園児の受け入れを行うことで三丁目すまいる保育園と一貫した保育が可能となった。屋上園庭が整備されたため、三丁目すまいる保育園の園児も活動の場が広がった。

また令和三年3月より、三丁目すまいる保育園の卒園児の受け入れに備え、ふじみ野市との協議により19名定員を30名定員に変更した。

● 高階すまいる保育園

開園以来、入園希望者が多く初年度よりほぼ定員に近い園児数となった。園児数は新園の特徴として3歳以上児より3歳児未満が多い年齢構成となっている。見学者や一時預かりの利用も高く、高階すまいる保育園のエリアには、非常に強い保育ニーズがある。職員体制、保育者のコンディションに配慮しつつ、今後とも最大限の受け入れを要請されることが予想される。一方、吹き抜けがある開放的な園舎構造のため、音の反響などが大きいという保育者からの意見があるため、防音対策を施していく必要がある。また今後の課題として、地域に開かれた施設として、川越市に引き続き「ひろば」の設置に関する要望を提出していくこととした。

2) 保育の取り組み

● すまいる委員会について

各姉妹園を横断する「すまいる委員会」を充実し、令和二年度は部会・委員会制とした。具体的には6つの部会に13委員会を設置、保育部会（にこにこ委員会・わくわく委員会）、研修部会（研修計画策定委員会・自己評価策定委員会）、安全部会（安全委員会・看護委員会）、食育部会（保育食育委員会・栄養調理委員会）、保護者地域部会（保護者委員会・地域委員会）、総務部会（保育環境評価委員会・内部監査・事務委員会）が、毎月各園の各委員が集まり、各委員会活動を行い、その成果を各園の保育に反映するよう努めた。各委員会の活動成果については、詳論にて記す。

- 令和二年度すまいる委員会



これまでの研究会の内容

2021

- 3月 保育×おもちゃ
- 2月 子どもを真ん中にして保育を語り合う part2
子ども主体の保育への取り組み
～エイ！と飛び込みや世界は変わる！～

(2) 事務の改善

1) ホームページのリニューアルについて

新園の開園に伴い、法人全体のホームページのリニューアルを行った。またホームページから求人・園見学の問い合わせ、応募の他、保育内容の説明、ひろばの予約などを行えるようになった。各園のドメインも整理し、ホームページの管理もしやすくなった。今回のリニューアルは特にスマートからの閲覧を意識し、外部委託により行った。また、ホームページのメンテナンスを行うための体制づくり、オンラインコンテンツや新しいアプリの活用など、次年度よりオンライン委員会を新たに設置し、専門に検討していくこととした。

2) 保護者集金の合理化

本年度より、保護者集金について保護者の現金持参による集金ではなく、りそな銀行の口座振替サービスによる銀行口座引落に変更した。それにより、現金集金日の職員体制の確保や本部への現金移動などが不要となり、セキュリティや事務を効率化することができた。保護者に対する集金明細や領収書の発行なども合理化された。

(3) 施設指導監査について

法人園4園について川越市指導監査（高階すまいる保育園、伊佐沼すまいる保育園）、埼玉県指導監査（三丁目すまいる保育園）、児童育成協会企業主導型保育所指導監査及びふじみ野市無認可保育所の監査（となりのすまいる保育園）が実施、鶴ヶ岡すまいる保育園については埼玉県の書面監査が行われた。各施設とも特段の指摘はなく、社会福祉法人、認可保育園、企業主導型保育園のルールに従い運営されていることが確認できた。同時に行政監査項目に基づく法人内での監査を法人園全園で実施、職員一人一人のルールや書類の整理について意識の向上を図った。また本年度、厚生労働省“自己評価ガイドライン”を基に保育の改善・充実（保育所による保育内容の評価）、保育者の専門性や職員間の協働性を高めていくための取り組み（保育者による保育内容の評価）に取り組んだ。保育者の自己評価チェックリストを作成、年間2回のチェックを実施した。また大学の保育研究者とともに姉妹園の委員が保育環境評価スケールを用いて各園の保育環境を確認、修正点等をフィードバックし各園で改善した。

(4) コロナウイルスへの対応について

昨年4月に新型コロナウイルスの緊急事態宣言が発令され、自治体からも保護者に向けて登園自粛要請がなされるなど、異例の事態となった。6月に入り、登園自粛は徐々に解除されたが、密を避けるため、親子ふれあい遊び会やワインターフェスタ、夏祭りや秋祭り、ハロウィンや地域行事への参加など、毎年行われてきた行事が中止となった。また地域交流センター（ひろば）等、地域との交流も制限された。

一方、ZOOMやYoutube等を活用しオンラインツールを使用して保護者とのコミュニケーションを深めた結果、場所や時間、移動についての制約となり、従来より参加しやすい、便利になった等の声も寄せられた。しかし通信環境の問題で利用できない方もおり、引き続き対面でのコミュニケーションを望む声も寄せられた。オンラインの活用については、理事会、保護者懇談会、施設間を横断する部会委員会等の会議を行ったり、自粛期間中の保護者の方向けに、自宅での保育を支援するための動画や子どもの園行事、保育の様子を配信した。オンラインひろばやZOOM面談など、新たな可能性も広がった。

コロナ対策として、空気清浄機の導入、アルコール消毒の徹底、清掃、検温、来園者の管理やコロナ発生時のシミュレーション・マニュアルを作成、職員の意識向上と感染防止に努めた。その結果、全園において園児・職員へのコロナウイルスの発生はなく、インフルエンザや手足口病、ヘルパンギーナなど他の感染症についても例年に比べ、格段に少ない結果になった。

(5) 園舎のリフォームについて

令和二年度は伊佐沼すまいる保育園（川越市）、三丁目すまいる保育園（ふじみ野市）について、保育室、廊下、ホールの床や壁、建具、不具合が出ている部分の修繕の他、バルコニー・テラスにウッドデッキを設置するなど保育環境の改善、職員の休憩や会議スペースを整備するためのリフォームを行った。

三丁目すまいる保育園は床の張替えの他、保護者対応のための相談室、職員の休憩スペースを拡充した。2階、3階部分のバルコニーにウッドデッキを敷設、子どもたちの遊び場を確保することができた。

伊佐沼すまいる保育園は床の張替えの他、事務室内の職員休憩スペースを拡充、2階バルコニーにウッドデッキを設置、職員通用口の風除室及び通行部分にアスファルトを敷設した。玄関部分に掲示スペースを設け西日を防ぐため、玄関の吹き抜け部分に遠隔操作ができる電動カーテンを設置した。

(4) 職員採用及び研修体制について

職員採用については、ハローワークや社会福祉協議会などの採用フェアに参加、保育実習生や園見学を幅広く受け入れた。研修については各委員会活動等の他、研修委員会で研修計画を策定、計画的に研修を進めることができた。

2. 詳 論（各部会活動報告）

イ. 保育部会

● にこにこ委員会

毎月テーマを決め、各園の代表者が話し合いをしました。実践報告と共に自園の課題を持ち寄り、成功例などの紹介をしたり、失敗例を共有しながら保育の質を高められるような学びの会になりました。一年の総まとめとして“姉妹園で過ごそうの日”を設定し、一日過ごしてみて自園に取り組めることや、課題提供をし、お

互いに当たり前の環境（人的・物的）を見直すきっかけにすることができました。

● わくわく委員会

にこにこ委員会同様に毎月のテーマを決め、そのテーマについて、自園の現状と課題をディスカッションしながら、子どもの姿の変化に合わせ、その内容を深めていきました。テーマを絞って各園の情報を交換する中で、幼児クラス共通の課題が見えたり、そのテーマを同僚性に当てはめて考えた場合など、多くの学びに繋げることができました。ディスカッションした内容は、事例集として来年度の保育に活用していきたいと思います。

□. 安全部会

● 安全委員会

子どもたちが安全に園生活が送れるよう「いのちのリスト」を再度見直しを行いました。死亡事故に直結するような危険箇所を中心に、保育者で見回りをすることで保育者自身の安全を見守る意識が高まったように感じます。また、マニュアルの内容も一部変更し、緊急時や状況に合わせて対応できるよう作成しました。

そのほかにも、申し送り表や園外散歩確認表を作成し、誰もが同じ対応やチェックができるよう活用していきたいと思います。

● 看護委員会

各保育園の看護師を中心に、園内の衛生管理や感染症対策、園児の健康管理等の情報交換やマニュアル作りを行いました。今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の件もあり、情報収集や発生した時のフローチャートの作成を行い、実際に感染者が出たときや濃厚接触者があった場合に備えました。コロナウイルス感染については、行政からの情報を発信して保護者に注意喚起を行うことで、保護者にも感染予防のお願いをしました。

また、病気やケガなどの対応について、保育者から疑問などが挙がっていることから、アンケートを行い、困っていることや知りたい情報を把握し、今後のマニュアル作成や研修に生かしていきたいと考えています。マニュアルについては、現在のマニュアルを見直しや新規の作成を行いました。安全委員会と共に、にこちゃんマニュアルの改訂を進めることで、職員間の情報共有に生かしていくけると思います。（今年度は改訂を含め、9つのマニュアルの作成を行いました）

ハ. 食育部会

● 保育食育委員会

「安心、安全な給食を楽しく食べる」ということを心がけ、姉妹園全体で毎月の会議を行い、各園の取り組みや好事例を参考にコロナ禍で行う食育について学びながら進めてきました。今年度も「お食事中の心がけを継続し、食事の様子を見守っています。

各月の学びでは、誤飲・誤嚥予防として、ピオーネ、林檎、豆等のニュース事案や、消費者庁からの通達文を参考にしました。保護者には、お弁当を作る際の注意事項として、果物の形状に気を配り、ミニトマトやキャンディーチーズ等の使用を避け、アレルギーの観点から卵焼きも控えていただくように協力を求め、子どもが自分で食べられる工夫について知らせました。

この他、咀嚼力と口腔内の発達、食具の持ち方と姿勢、旬の食べ物、検食の仕方と検食簿の記載、厨房と保育の一体化について検討を行いました。食具の扱いでは、滑らかな指使い、手首使いになる玩具の提供を考え、旬の食べ物を掲示することで、子どもたちの食への関心を高め、五感を通じて食材と触れ合う機会を設けました。

職員の検食時には、異物混入や粘り気等にも意識をもって観察することの重要性を確認しました。厨房スタッフと保育者がコミュニケーションを密に図り、相互理解を深め、対話を重ねて互いの専門性を活かして連

携・協力して取り組みました。保育参加では、保護者に給食アンケートを実施し、個人面談にて生活や食事に関する情報を家庭と共有しました。

● 栄養調理委員会

前年度より実施している厨房業務の可視化を進めました。（清掃リスト・厨房事務リスト）衛生管理ではHACCPを取り入れた衛生管理の義務化に伴い見直しをし、より一層の衛生管理強化に取り組みました。自己評価においては、厨房版を作成し、厨房業務も保育活動の一つであるという意識を持つ内容にしました。また、情報共有の場となり、他園での取り組みを自園に取り入れるなど問題解決の場ともなりました。

二. 保護者・地域部会

● 保護者委員会

コロナ禍の為、保護者の方が行事に参加することができませんでした。日頃の子どもの興味・関心のある遊びや、子どもたちだけで実施した行事については、ドキュメンテーションやキッズリーにて保護者の方に配信して、子どもの様子の共有を行ってきました。保育参加や保育についてのアンケートを行うことで保育理解にも繋がっていると思います。

● 地域委員会

4月より高階・となりのすまいる保育園が開園し、2園の子育て支援センターの運営が始まりました。同時に、コロナ禍の取組みとして、zoom広場の開設をし、それに伴い広場の申し込みがネットを使ってよりスムーズに出来るようになりました。また、インスタグラムを開始して、ブログも運用し、インスタグラムはフォロワー数が180人になりました。園舎前に設置した掲示板を活用し、日々の保育を伝えるとともに地域とのコミュニティーとして活用することができました。保護者の方々には、手洗い、工作の動画も配信して、園と保護者との相互理解を深めています。

この他、埼玉県社会福祉協議会の公益的取組み、衣類バンク事業を全園で協働しました。保護者の皆様から収集した衣類を県事業を通して、保育園・保護者の皆様と共に県の包括に取り組ませていただいています。

今年度は、コロナ禍での活動となりましたが、コロナ禍だからできた取組みもあり、より、地域・保護者・保育園のネットワークを深める活動ができた一年間だと思います。

三. 研修部会

● 研修計画策定委員会

コロナ禍ということで、ZOOMを取り入れた5園合同研修を行いました。新たな外部講師として、チャイルドファットラボ藤原里美先生、文京学院大学茂井万里絵先生と5つの姉妹園を結んでリモート研修を行うことができました。また「すまいる研修ガイドライン」を作成して、研修歴カードのデータ化にも取り組みました。日頃の小さな課題や不安解決のために、少人数のディスカッション形式で行った園内研修も好評でした。事務の職員と実績を共有できるように「研修出欠表」を新しくしました。

● 自己評価委員会

厚生労働省より発表されている“自己評価ガイドライン”を基に保育の改善・充実（保育所による保育内容の評価）、保育者の専門性や職員間の協働性を高めていくための取り組み（保育者による保育内容の評価）について考えを深めました。また、保育者の自己評価チェックリストを作成して、年間2回実施することで保育の振り返りを行ない、質の向上に努めました。

四. 法令分科会（人権擁護委員会）

● クオーレ・スケール【クオーレの日、トミーの日】

大学の保育研究者である保育アドバイザーと共に、各園の環境や保育者のかかわりを見直す取り組みを行っています。昨年度と同様に「新・保育環境評価スケール」（法律文化社、埋橋玲子訳）を用いて、一定の評価基準の中で見定めていけるようにしました。各園とも高水準という結果が見られ、課題も少しづつ改善されています。しかし、昨年度と同様の課題も上がっているため、引き続き、環境アドバイザーの先生方の指導を受けながら改善しています。

● 内部監査

伊佐沼、高階については、川越市の指導監査の前に内部監査を行い、実際の監査を想定して書類等の確認を行いました。三丁目については、今年度は実地監査が行われるということで、伊佐沼、高階と同様に内部監査を行いました。鶴ヶ岡については、今年度は書面監査であったが、三丁目の実地監査時の指摘事項を踏まえた実地監査を想定し、内部監査にて書類の確認、見直しを行いました。

委員会開催状況

委員会	場所	開催状況
にこにこ委員会	各園 ズーム研修	5/28、6/26、7/30、8/28、9/25、10/26、11/16、12/22、1/26、
わくわく委員会	となり 10月以降ズーム	5/29、6/26、7/30、8/28、9/25、10/26、11/26、12/22、1/26、2/24、3/23
安全委員会	各園 ズーム研修	6/9、7/6、8/18、9/8、10/16、11/10、12/8、1/12、2/8、3/9
看護委員会	となり	6/9、7/6、7/14、8/26、9/23、10/16、11/10、12/8、1/12、2/8、3/9
保育食育委員会	となり 9月以降ズーム	6/11 7/9 8/20 9/10 10/20 11/9 12/10 12/10 1/14 2/10 3/8
栄養調理委員会	となり	6/11、7/9、8/20、9/10 (zoom) 10/20、11/9、12/10、1/14、2/10、3/8
保護者委員会	となり・三丁目 9月以降ズーム	5/28、6/11、7/9、8/20、9/14、10/20、11/5、12/10、1/14、2/10、3/11
地域委員会	となり・三丁目 9月以降ズーム	5/28、6/11、7/9、8/20、9/14、10/20、11/5、12/10、1/14、2/10、3/11
研修計画策定委員会	各園 ズーム研修	5/26、6/8、7/8、8/19、9/9、10/14、12/9、2/9
自己評価委員会	各園 ズーム研修	6/18、7/14、8/26、9/23、11/10、
クオーレ・スケール	各園	6/16、7/27、8/27、9/24、11/16、12/24、1/28、2/25、3/11
内部監査	各園	伊佐沼8/6・高階8/7・三丁目11/30・鶴ヶ岡12/25

3. その他

(1) 理事会開催状況

理事会 令和2年6月13日

理事会 令和2年10月31日

理事会 令和2年12月10日（入札理事会）

理事会 令和3年3月27日

(2) 定期評議員会開催状況

令和2年6月28日

令和2年度 伊佐沼すまいる保育園 事業報告書

1. 令和2年度 総括

今年度は新型コロナウイルスの感染により4月からの緊急事態宣言が発出され、園の生活も通常とは異なった形でスタートを切らざるを得なかった。6月までは常勤者のみでの保育となり、子どもの登園人数は30名弱であった。緊急事態宣言中は、保育者によるパネルシアターなどの動画の配信を行った。6月以降は通常の出勤体制となり「新しい生活様式」での保育となった。

具体的には玄関での送迎や検温、1日3回の消毒、日光消毒を行う。玄関での送迎に関しては、保育者の負担も多いことから保護者会ともやり取りを重ね少しづつ形を変えながら対応する。

予定されていた行事は中止となつたため、ウィンターフェスタではYOUTUBEを使った動画配信を行い、保護者とのコミュニケーションを取れるようにした。コロナ禍により行事など形が変わつたものは多いが、それにより新しい形で保護者とつながつたり、子ども自身が身支度をしようとする意識や手洗いなどがいなどの衛生意識が高まつたという面もあつた。

保育内容や安全面などはすまいる委員会を中心として、適宜見直し、修正しながら保育の質の向上に努めた。

保育環境としては、昨年度作り始めたウッドデッキを姉妹園の保育者とともに園庭側すべてに広げた。それにより、ウッドデッキが「半屋外空間」として子どもたちがおやつを食べるスペースや絵の具などの遊びを楽しめる場、のんびりと日に当たつてくつろぐ場となつた。

新しい環境を作ると同時に、園庭のハザードを取り除き、安心して見守れることのできる環境づくりにも取り組んだ。ハザードの一つとして園庭のコンクリートがあつた。取り組みとしては、フェンス下のコンクリートや花壇の前に1×4の柵を取り付けた。また、コンクリートがむき出しになつてゐた花壇は、柵を作り土を入れることでハザードの除去と同時にきれいな花をたくさん植えることができるようになつた。柵をつけられない場所にはミニ花壇を作りコンクリートを隠すように設置した。花壇を整備することで、季節を感じられるようになり触れるだけでなく色彩や香りなどより五感を感じながら過ごせるようになった。

また、現環境の見直しと整備を行つた。園庭に設置していた低い土台は劣化が進み、ささくれていたため全て撤去する。また、土台やロフトから落下する子がいたため、アドバイザーである井上寿先生に相談し、新たに柵の設置や「難易度を高める」取り組みを行う。具体的には、登る際に手掛かりになる場所をふさぎ、また足をかけていた場所も幅を大きくした。難易度を高めることにより、容易に登れなくなり不意な遊び方をする子が少なくなった。ロフトにつけてあつたロープは首をひっかけてしまう可能性があつたため撤去し、新たにブランコを設置する。また、ロープからの登り口として開口してあつた場所は落下防止の為ふさぎ、ロフト上部での遊び場の保障をした。

今年度、ハザードの除去や見直しなどの整備を進めていくことで、作ることが目的とならず、作ったことで保育者同士の対話が生まれ、そして少しづつ形を変えながら「子どもたちを育む環境」を作っていくことの大切さを感じた。今後もどのような環境が子どもたちにとって必要かなどと考えながら、常に見直しや整備を繰り返すことで保育者も子どもも主体的に環境に関わり、よりよい環境づくりを心がけていきたいと感じた。

【園庭環境整備例】



ウッドデッキは園庭と室内を繋ぐ場所
いろいろな活動が楽しめるようになった。



フェンスの下のコンクリートの前に、1×4で柵を設置



フェンスの前の花壇の整備。
きれいにお花を植えられるようになった。



隙間を埋めることで難易度を高めました



農道の出入り口はフェンスがつけられなかつた為花壇を設置



ロープを撤去する代わりに、ブランコを設置

にこにこ組の廊下に設置してあったドアを開放することで、子どもたちの行き来が自由となり、日常的に子ども同士（異年齢）の関わり合いが増えた。それにより、玄関ホールが子どもたちにとって遊び場となり常にロフトや遊具で楽しむ姿が見られるようになった。また、子どもの遊び場の選択肢が広がり、玄関ホールが子どもたちの「憩いの場」と変化していくことで、少しずつ職員間の連携もスムーズになってきたと感じる。子どもたちの姿を見ていると、自然と小さい子と関わるお兄さん、お姉さん、大きい子の真似をしたりくっついて遊ぶ小さい子、ちょっと大人から離れてくつろぎたい子など様々な姿が見られている。もちろん今まで異年齢で過ごしていたが、日常的に関わりを持てる場所ができたことで「大家族」のように関係性が深まっているように感じる。

今年度、「すまいるの10のコツ」という保育方針に沿って、職員間で試行錯誤しながら取り組んできた。特に「時間と空間の制限を極力少なくする」という点においては、職員間の対話を繰り返してきた。空間としては、先に挙げた廊下に設置してあったドアの開放をはじめ、早番、遅番を支援センターだけでなく玄関ホールなどに広げたこと、園庭と室内の行き来をより自由にしたことなどがある。空間が広がったことで子どもたちの主体的な活動が広がりより心が満たされているのか、かみつきやひつかきなどの件数を昨年度と比較すると半数以下となった。

子どもたちの姿を共有し、「できない」ではなく「どうすればできるか」を考えながら一つ一つ取り組んできたことで、職員間の同僚性も高まったように感じている。

【室内整備例】



玄関ホールの「憩いの場」。自然と子どもたちが集う場となっている。



事務所に隣接した絵本コーナー。大人の存在を感じながらも、子どもたちにとつてはちょっとした「隠れ家」となっている。



廊下のドアの開放。これにより、子どもたちの姿に変化が見られた。

2月より園舎のリフォームを行う。園舎内のすべての床、壁紙に加え、ドアなども新しくする予定。また、保育者がより休憩などを取りやすいようスペースを広げるなど子どもも大人も居心地の良い場となるよう考えている。



2階保育室。
全体的に落ち着いた雰囲気となつた。

2. 児童利用状況

月別利用児童受託状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	3	3	5	6	6	8	8	8	8	8	8	8
1歳児	11	10	10	11	10	10	9	10	10	11	11	11
2歳児	13	13	13	13	13	13	13	11	11	11	11	11
3歳児	10	10	10	10	10	10	10	9	9	9	9	9
4歳児	15	15	15	15	14	14	14	14	14	14	14	14
5歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15

延長保育利用状況(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用総人数	82	44	105	101	118	124	150	93	96	74	84	92

3. 保育園開所時間

		保育標準時間	保育短時間	備考
早朝延長	7:00～8:30	最大 11 時間	有 料	
通常保育	8:30～16:30		最大 8 時間	
夕方延長	16:30～18:00		有 料	
有料延長	18:00～19:00	有 料		土曜日は無し

4. 職員

3月1日時点での在籍内訳

常勤職員	10人	保育士	8人	看護師	0人	栄養士	2人	支援センター	0人
パート職員	22人	保育士	11人	看護師	0人	栄養士	0人	支援センター	3人
		調理員	2人	嘱託医	2人				

職員在籍状況(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在籍総数	36	37	35	35	34	34	33	32	31	31	31	32	401
うち施設長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
うち保育士正規	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	77
うち保育士パート	11	11	11	11	11	12	11	10	10	10	10	11	129
うち看護師	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	8
うち調理員	6	6	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	58
うち用務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち子育て支援	3	3	3	3	2	2	2	2	3	3	3	3	32
うち産休育休	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
うち保育補助	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60

5. 運営報告

(1) 開催した施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
わくわく会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
にこにこ会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
リーダー会	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

(2) 各種ワーキングチームを設置し、職員主体での運営

研修 WT	職員の資質向上に向けて組織的、かつ体系的な研修計画に基づいて進める
安全 WT	園内外の環境整備および保全、安全・防災に関する意識の強化、子どもと保護者への情報発信と学び合いに務める
食育 WT	健康な生活の基本としての「食を通した命の営み」の育成に向け、その基礎を培えるよう、食育計画の作成や食育環境、栄養管理などに取り組む 保育と給食の一体化を目指して、栄養士、調理員、保育者が連携する
地域 WT	地域ともに育ちあえる保育を目指して、地域との交流を深める
絵本 WT	絵本を大切にする心、絵本に親しめる環境とは何かを考えながら園内の絵本環境整備に取り組む。

6. 保育・処遇

(1) 保育・保護者面接および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	<ul style="list-style-type: none">・保育者と保育内容や環境について共有し、適宜、悩みや戸惑いに寄り添うよう努めた。悩みや戸惑いに関しては保育者からアンケートをとり研修内容として考える場を設ける。・職員とは定期的に個別面談を行った。
保護者面談および発達相談	<ul style="list-style-type: none">・現在の子どもの状況を共有することで、双方の理解を深めながら子どもへのかかわりや環境について考える場を設けた。また、保護者からアンケートをとり、園の保育内容等に理解が不十分な家庭に関しては個別にやり取りを行った。・保護者の悩み等は、適宜個別面談を行い、子育ての不安を解消した。
園児の保護者への支援および意見要望への対応	<ul style="list-style-type: none">・日々の連絡帳や口頭による要望、ご意見箱に投函された書面、保護者会役員からの質問等にはその都度対応した。連絡帳などに書ききれない内容は直接やりとりする場を設けた。・コロナ禍により保護者とのコミュニケーションが不十分であったことを考慮し、代わりに保護者会役員の方とのやり取りする場を設ける。特に、衣服の汚れに対する理解を求める（園での対応を含めて）、玄関での送迎について、行事についてやり取りした。玄関での送迎は保護者会からの意見を踏まえて、段階的に方法を見直しながら対応した。

(2) 年間行事の振り返り

・コロナ禍により、大きな行事（夕涼み会、親子ふれあい遊び会、ウィンターフェスタ）は園内で子どもと保育者での開催となった。夕涼み会と親子ふれあい遊び会に関しては、映像を編集し後日動画配信を行うことで子どもたちの当日の様子を共有できるようにした。ウィンターフェスタはYOUTUBEでのライブ配信を試みた。通信環境により動画がフリーズしてしまったり、やや画質が粗いなど課題も見られたが、このようなツールを使うことでより身近に保育を共有できるということを感じた。来年度以降も行事を検討していく中で、効果的にこのようなツールを活用していかねばと思う。

・保育参加は1日1組として行う。当初はコロナの心配の声も上がっていたが、行事が行われていなかった分、保育参加によって園や子どもの様子が分かったという声が多く、貴重な場となったように感じる。

・園外保育に関しては、コロナ禍により公共施設の利用が難しいところが多く、また、保護者アンケートの中にも園外保育に関する心配の声が多かったため、苗グループのみ「けやの森学園」と「上尾丸山公園」「鶴ヶ岡すまいる保育園」に行く機会を作った。バスに乗って園外に出かけるからこそ体験できることがあり、今後も保護者の理解を得ながらできる限り計画していくと考えている。



けやの森での遠足にて

(3) 給食・食育運営状況

- 個々の発達や生活リズム等に合わせて、和やかに食事が出来るよう、個々の気持ちを尊重した関りを心がけ、一人ひとりのペースに合わせて食事が摂れるようにしている。
- 保育と厨房の一体化として、栄養士や調理員が配膳や食事介助などに関われるよう休憩の取り方などを工夫した。食事のおいしさを共有するとともに、子どもとの関わりが増えたことで、子どもたちの様子が分かるようになった。また、配膳室にも子どもたちが遊びに行く姿も多くなり、自然なやり取りを楽しんでいると感じる。
- 畑での野菜を収穫しての焼き芋やクッキングを通して、食の繋がりを感じる体験ができた。特に、焼き芋などは実際の火おこしから子どもたちが中心となってどうやつたら火が起こせるか、火を強くするにはどうしたらよいのかなど考える機会を増やすことができた。



火おこしに挑戦

(4) 保健に関する実施結果

園児健康診断	年2回実施（6月12日・11月13日）
歯科検診	年1回実施（6月25日）
保健だより	毎月児童数配布
職員健康診断	年1回
職員検便	年度当初：全職員 毎月：0歳児担当・厨房担当者実施
流行した感染症	手足口病、流行性角結膜炎、胃腸炎、とびひ（いずれも集団感染には至らず）
	9月12日普通救命救急講習受講
その他、保健に関する取組	8月14日、15日と3月30日、31日に厨房設備の害虫駆除実施 希望する職員にインフルエンザの予防接種

- 今年度はコロナウイルスの感染拡大に伴い、園内の消毒活動はじめ、日頃の手洗い、うがい、マスクの着用が当たり前となったからか、園内での感染症がほとんど流行らなかった。

(5) 安全対策

1. 避難訓練等実施状況

実施日	訓練内容	消防署立会	消防署届出	その他
4月15日（水）	避難・初期消火	無	無	
5月20日（水）	避難・初期消火	無	無	
6月18日（木）	避難・初期消火	無	無	
7月29日（水）	避難・初期消火	無	無	総合防災訓練 通報訓練 水消火器訓練

8月31日(月)	避難・初期消火	無	無	
9月16日(水)	避難・初期消火	無	無	
10月13日(火)	避難・初期消火・通報 広域避難場所避難	有	有	通報訓練 水消火器訓練 引き取り訓練
11月18日(水)	避難・初期消火	無	無	
12月15日(火)	避難・初期消火	無	無	
1月15日(金)	避難・初期消火	無	無	
2月18日(木)	避難・初期消火	無	無	
3月 日()	避難・初期消火	無	無	

2. 非常災害備品の設置

- 賞味期限を確認して、非常食の入れ替えを行い、備蓄用品を点検した。
- 新たに避難待機用大型テントを購入する。

3. 侵入者、不審者訓練

- 5月28日(木)園内にて不審者対応訓練を実施する。
- 12月21日(月)園内にて不審者対応訓練を実施する。

4. 実施した環境整備の状況

- 落下防止用の鍵が劣化してかかりにくくなっていたため、新しいものに取り換える。
- 支援センター前の大きな窓の鍵を開けると外に出られてしまうため、開けられないようロックした。
- 門の施錠がされていないことがあったため、保護者向けの掲示を増やした。
- 玄関ホールにエアコンと日よけシェードを設置し、熱中症対策を取った。

(6) 地域との関わり

ア 子育て支援

- 今年度はコロナウイルス感染症の影響により、地域行事への参加や近隣の方を園内の行事にお誘いする機会がなくなってしまった。
- 園だよりを地域の回覧と一緒に配布させていただく。

7. 危機管理

- 安全部会の取り組みとして命のリストが「睡眠」「誤嚥」「水」という命に関わる場面を中心に変更となった。それに合わせて、食事場面の見守りを手厚くし、より一人一人の姿勢や咀嚼の様子、食後の口の中などに注意して目を向けるようにした。

- ・ ヒヤリハットは濃淡を明確にし、窓のかぎの不具合などはすぐに新しいものに交換するなど迅速に対応した。また、園外保育でのヒヤリハットは職員間の安全意識（感覚）を高められるよう研修にて取り入れ、具体的な体制などはじっくりとクラスで話し合い、園外保育に対する危機意識を高め、安全に楽しめるよう働きかけた。
- ・ 気づきノートには、日常の中にある保育者のちょっとした気づき（〇〇が壊れていたから直しておいた、〇〇が汚れていたから拭いておいた）を個々に書くようにし共有した。クラスごとにノートを作ったことで、それぞれのノートに日々2~3個の気づきがあがるようになり、更に一人一人が具体的な対応までしてくれるようになった。
- ・ 他園で発生した事故事例等について、姉妹園の代表者が集まる安全分科会等を通して共有し、自園の対応を話し合った。
- ・ 毎月の避難訓練では、計画通りに実施するだけでなく訓練の際に出た反省を踏まえて翌月の訓練に繋げられるよう安全 WT での話し合いを行った。避難訓練の中の PDCA サイクルが回るようになったことで、保育者間の連携などが高まったように感じる。

1. 職員研修(園内研修)

【令和2年度 内部研修実績】

実施日	研修内容	参 加 人 数
6月27日	<ul style="list-style-type: none">・藤原先生 ZOOM 研修・事務所について・水の事故・熱中症について・環境整備(草むしり、シャワー室、倉庫等々)	26名
7月18日	<p>☆合同園内研修</p> <ul style="list-style-type: none">・各部会より・水道の使い方・おもちゃ作り(水時計、おままごと、コーナー設定)	20名
8月29日	<ul style="list-style-type: none">・環境整備・各委員会より・虐待について・散歩マニュアル・にこちゃんマニュアル読み合わせ・支援センター	25名
9月5日	<ul style="list-style-type: none">・普通救命救急講習・発達を知る（藤原先生）	18名
9月12日	・普通救命講習	22名
9月26日	<ul style="list-style-type: none">・棚卸・砂場・各クラス環境整備・散歩マニュアル・蜂について・楽しい食事をするために(食育)・研修歴カードについて(研修)・茂井先生 ZOOM 研修インクルーシブな保育実践のための障がい理解と子ども理解のために	19名
10月24日	<ul style="list-style-type: none">・感染症について（安全）・嘔吐処理・登園の目安（看護）・子育て支援・保護者支援について・保育計画下半期作成・園庭・室内環境整備	20名
11月14日	<ul style="list-style-type: none">・インフルエンザについて・土曜保育について・お弁当について（食育）・心も身体も健やかにそだてるために(渡邊さんより)・園庭 DIY・カギについて	21名

12月 12 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ワインターフェスタの準備 ・自己評価をつけてみて ・保育者の配置（フォーメーション）について 	25 名
12月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> ・大掃除 ・手洗い動画・伊佐沼の動画編集について（地域） ・ワインターフェスタのかたづけ ・にこ・わく会 	22 名
1月 31 日	<ul style="list-style-type: none"> ・高階 DIY(井上先生) 	17 名
2月 13 日	<p>☆合同園内研修(鶴ヶ岡、伊佐沼、三丁目、となり、高階)</p> <p>AM</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間保育計画等作成 <p>PM</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育マニュアル(誤嚥・食べ物の形状について)(食育より) ・CCW リモート講習 ・各部会より 	24 名
2月 20 日	<ul style="list-style-type: none"> ・三丁目・となり DIY(井上先生) 	15 名
3月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度準備 ・不審者対応(安全) ・人権について(保育) 	名

※個人情報(秘密保持)、乳幼児突然死症候群(SIDS)、アレルギー、誤飲誤嚥については資料にて配布

※散歩時の安全見守りについては平日のミニ研修にて行った。

2. 外部研修

【令和2年度 外部研修実績】

実施日	研修名及び講師	研修内容	会場	参加人数
1月 15 日	東京大学教授 遠藤利彦氏	乳幼児期におけるアタッチメントと 非認知的な心の発達について (ウィズコロナ・アフターコロナを見据えて)	伊佐沼すまい る保育園 (ZOOM 研修)	2 名
9月 8 日	【野育の会】 天野秀昭氏	子どもの「育ち」の本質を知る ～「育てる」から「育つ」へ 「教育」から「遊育」～～	ZOOM 研修	1 名
10月 13 日	【野育の会】 天野秀昭氏	生命誕生と「生きる力」 ～「生きる力」は「育てる」ものか 「育つ」ものか～	ZOOM 研修	1 名
11月 13 日	【野育の会】 天野秀昭氏	「遊育」が育てるもの ～「遊ぶ」と「遊び」との違いはどこにあるか ～	ZOOM 研修	1 名
12月 8 日	【野育の会】 天野秀昭氏	「豊かに育つ」ことができる環境の条件 ～「野育」のススメ～	ZOOM 研修	1 名
1月 12 日	【野育の会】 天野秀昭氏	「プロセス」と「目的達成」 ～非認知能力と認知能力/非常時と平常時～	ZOOM 研修	1 名

2月9日	【野育の会】 天野秀昭氏	都市化の中での「遊ぶ」の保障 ～システム化と教育の落とし穴を見極める～	ZOOM 研修	1名
7月16日	【子どもの文化】 井桁容子氏 遠藤利彦氏	新しい赤ちゃん像と保育実践を学ぶ教室	ZOOM 研修	1名
9月24日	【子どもの文化】 井桁容子氏 遠藤利彦氏	新しい赤ちゃん像と保育実践を学ぶ教室	ZOOM 研修	1名
10月15日	【子どもの文化】 井桁容子氏 遠藤利彦氏	新しい赤ちゃん像と保育実践を学ぶ教室	ZOOM 研修	1名
11月5日	【子どもの文化】 井桁容子氏 遠藤利彦先生	新しい赤ちゃん像と保育実践を学ぶ教室	ZOOM 研修	1名
12月10日	【子どもの文化】 井桁容子氏 遠藤利彦氏	新しい赤ちゃん像と保育実践を学ぶ教室	ZOOM 研修	1名
1月21日	【子どもの文化】 井桁容子氏 遠藤利彦氏	新しい赤ちゃん像と保育実践を学ぶ教室	ZOOM 研修	1名
11月1日	【秋の保育アカデミー】 長谷川義史氏	『絵描くの、めっちゃやすつきやねん！』	ZOOM 研修	1名
11月8日	青山誠氏 (上町しぜんの国保育園園長)	『コロナのなかで、ぼくたち保育者にできること』 ～どっちを向いて保育する？ 親？行政？ いえいえ子どもでしょう！～	ZOOM 研修	1名
11月15日	井桁容子氏 (乳幼児教育研究家) × 佐伯胖氏(認知心理学者)	『子どもと共に生きる“大人の在り方”を考える』	ZOOM 研修	1名
11月22日	汐見稔幸氏 (教育学者、東京大学名誉教授)	『子どもが“わかる”ということはどういうことか？ ～私の関わり方が見えてくることとつなげて考える～』	ZOOM 研修	1名
11月29日	落合恵子氏 (作家、クレヨンハウス主宰)	『明るい覚悟 こんな時代に、子どもと共に』	ZOOM 研修	1名
2月7日	【冬の保育アカデミー】 大豆生田啓友氏 (玉川大学教育学部教授)	『私の保育が「変わる」ということ』	ZOOM 研修	1名
2月11日	加藤博氏 (南アルプス子どもの村小中学校 校長)	『まかせて待つ教育で子どもが育つ』	ZOOM 研修	1名
2月14日	永田佳之氏 (聖心女子大学教授・博士)	『サステイナブルな保育にいざなう 7つの問い』	ZOOM 研修	1名
2月21日	汐見稔幸氏 (東京大学名誉教授)	『参与と観察そして応答』	ZOOM 研修	1名
2月23日	井桁容子氏 (乳幼児教育研究家) 佐伯胖氏(認知心理学者)	『子どもが「分かる」ということについて』	ZOOM 研修	1名
2月28日	小西貴士氏(森の案内人・写真家)	『森からのまなざし』	ZOOM 研修	1名
2月3日	大豆生田啓友氏 松本理寿輝氏(まちの保育園代表)	『乳幼児期の教育で育つ力』	ZOOM 研修	1名
2月11日	江夏猛史氏 (NPO 法人 減災教育普及委員会)	『リスクマネジメント研修(減災教育について)』	ZOOM 研修	1名

【令和2年度 キャリアアップ研修実績報告書】

実施日	研修内容	研修場所	参加人数
12月 1日	障害児保育	Zoom 研修(自宅)	1名
12月 5日	障害児保育	Zoom 研修(自宅)	1名
12月 8日	障害児保育	Zoom 研修(自宅)	1名
2月 1日	乳児保育	Zoom 研修(自宅)	1名
2月 3日	乳児保育	Zoom 研修(自宅)	1名
2月 5日	乳児保育	Zoom 研修(自宅)	1名

3. 苦情解決のうち報告すべき事項

- ご意見箱や口頭、連絡帳等で寄せられた全ての意見、要望、苦情については、原則「苦情対応体制」に従い個別に対応した。
- ケースに応じて、法人本部に報告・相談し、指示を仰ぎながら対応した。

令和2年度 三丁目すまいる保育園 事業報告書

1. 令和2年度 総括

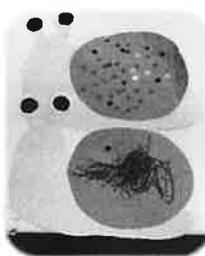
今年度は入園式後慣れ保育中にコロナで緊急事態宣言が発令し、多くの保護者の方が自粛されました。小・中学校等の教育機関も休日となり、自宅で過ごす期間が1か月を経とうとした頃、園として何ができるだろうか?との思いで絵本を紹介したり、わらべ歌と一緒にやりましょうと声を掛けた動画を配信したりとお家の時間を親子で楽しんでもらえるような工夫を提案していました。

また、簡単な製作を紹介し園の方で材料のキッドを用意し月刊絵本と一緒に郵送をしました。その後、お子さまの様子や保護者様の就労状況・動画配信を見ての感想・郵送の到着状況等の確認を兼ねて週1で保護者の方に電話連絡を入れました。ほとんどの方が園の動画配信を見ていただき、お子さまが先生たちの姿を見て「〇〇先生」と声を出したり、先生の動きを真似たりと喜んでいます。または助かります。との温かいお話を聞くことができました。そして、なかなか出勤できない親御さんの思いも伝えていただきました。

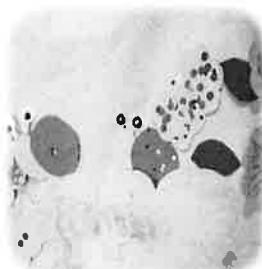
親子の時間が増えたことでトイレトレーニングができ、パンツへの移行も今年度は昨年と比べると多かったと思います。保護者の方も社会状況で不安の中自粛できず出勤され、日々の通勤で健康状態が不安であったと思います。そういった両方の思いを理解し、日々の消毒に努めた2ヶ月間がありました。



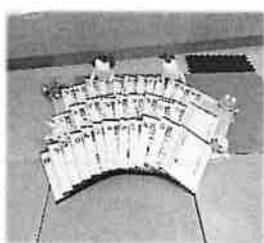
テントウ虫の製作



カタツムリの製作



園の玄関先に作っていただいたものを飾りました



した。
4月
ゆう
パック
だ
配
送
し
ま
し
た。

保育環境では、4・5月は人数も少なく合同保育を行い6月頃から少しづつ登園児も増え子どもの姿に合わせた環境作りを日々振り返り、変更することも数回ありました。

保育の面は、となりに姉妹園ができたことで2歳児にとって1つ上のお兄さんお姉さんの姿を見て学ぶ姿があり夏以降交流を少しづつ重ね、3月に入ってからは一緒に生活することで場面切り換えや、こ

とばでのやり取り、自ら解決する方法等たくさんの経験をすることができた。

2. 児童利用状況

月別利用児童受託状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	3	3	3	3	6	8	10	15	15	15	15	15
1歳児	23	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
2歳児	23	23	24	22	22	23	23	23	23	23	23	22

延長保育利用状況(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用総人数	45	50	57	50	53	65	54	50	42	35	43	59

3. 保育園開所時間

		保育標準時間	保育短時間	備考
早朝延長	7:00～8:00	最大 11 時間	有 料	
通常保育	8:00～16:00		最大 8 時間	
夕方延長	16:00～18:00		有 料	
有料延長	18:00～19:00	有 料		土曜日は無し

4. 職員

3月1日時点での在籍内訳

常勤職員	7人	保育士	7人	看護師	0人	栄養士	0人	支援センター	0人
パート職員	22人	保育士	16人	看護師	1人	栄養士	1人	支援センター	0人

職員在籍状況(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍総数	33	32	35	32	32	31	32	32	32	30	29	29
うち施設長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
うち保育士正規	7	7	8	7	7	7	6	7	8	7	6	6
うち保育士パート	17	17	17	16	16	15	17	16	15	16	16	16
うち看護師	1	1	1	2	2	2	2	2	2	1	1	1
うち栄養士	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
うち調理員	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
うち用務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち子育て支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち産休育休	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0
うち保育補助	1	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1

5. 運営報告

(1) 開催した施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
わくわく会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
にこにこ会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
リーダー会	1	2	2	2	0	2	2	2	2	1	0	0
フリー会	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 各種ワーキングチームを設置し、職員主体での運営

研修 WT	職員の資質向上に向けて組織的、かつ体系的な研修計画に基づいて進める
安全 WT	園内外の環境整備および保全、安全・防災に関する意識の強化、子どもと保護者への情報発信と学び合いに務める
食育 WT	健康な生活の基本としての「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培えるよう、食育計画の作成や食育環境、栄養管理などに取り組む
保育 WT	活動が豊かに展開されるように、書類の作成、CCWの活用、研修を受けて環境の見直しなどを行う。

6. 保育・処遇

(1) 保育・保護者面接および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	・日中の保育だけでなく遅番のヘルプなど、積極的に子どもの中に入ること
----	------------------------------------

	で、子どもたちの様子から見えるエピソードなどを共有し、環境整備などの相談に乗れるよう努めた。 ・職員とは自己評価を基に定期的に個別面談を行った。
保護者面談および発達相談	・保育参加の際、保護者との面談を行い、保育園での生活の様子や、発達について共有した。 ・子ども発達支援巡回事業を利用し、発育発達に不安のあるお子様の様子を見てもらい、助言を頂く。
園児の保護者への支援および意見要望への対応	・特に保護者からのご意見を頂くことがなかったため、面談等は行っていない。

(2) 年間行事の振り返り

コロナ禍のため今年度は保護者参加の行事をおこなうことはありませんでした。保育者と子どもとの行事を計画し一週間の行事週間として子どもと作り上げたものになりました。

夏祭りでは、となりにできた姉妹園の幼稚園中心に会場を塗り絵や夏の花で一日一日作り上げました。当日は浴衣を家庭で用意していただき、ファッションショーをしたりたこ焼き屋・かき氷と夏まつりの気分を味わいました。おみこしは写真や姉妹園の行事の様子を動画で見てイメージを付けてもらい当日の会場で保育者と一緒に担ぎました。子どもたちが浴衣で変身することに楽しさを感じていたので、いつも地域の方に協力していただいているハロウィンを保護者会の役員さんが参加していただき子どもたちの家庭で用意していただいた仮装衣装を着て地域を散歩する様子を動画で録画していただき、各子どもたちにDVDとして配布していただきました。今年度は保護者参加の行事が無かったため、保護者会役員の方も何かできないだろうか?と考えてくれ、夏の花火を保育室の壁に飾ってくれたり、ハロウィンやクリスマスの雰囲気を感じてほしいと玄関から階段・保育室と飾りつけをして頂きました。子どもの喜ぶ姿を見られ良かったです。と楽しみながら行ってくれた保護者の方もおりお互いの思いを共有できたと思います。



夏祭りの様子



1/2卒園式は蜜を考慮し2グループに分かれ同時進行し行ったのですが、1時間ゆったりとした、式になり保護者の方のアンケートも感謝の言葉が多くかった。

給食・食育運営状況

食育活動では、毎月様々な形で2歳児を中心に、食材に触れたり、時には実際にクッキング体験も行った。月々の旬の食材を意識し、皮むきや、洗浄などで本物の食材に触ることで、匂いや感触を感じることが出来た。0歳児であっても、その時の表情や給食に出てきた時の反応があり触ることの大切さが感じられた。また、子どもたちの意見を聞き、野菜を育て、収穫し、調理をして食べる体験もできた。食べ物ができる過程を体験し、食に対する興味が増したと感じられる。

また、食事中の子どもたちの様子をしっかりと見守るために、「食事中の心がけ」を見ながら食事の介助、見守りを行っている。見守り方を共有することで、姿勢や足の位置、を意識することができ、誤飲防止、事故防止、に繋がっている。

(3) 保健に関する実施結果

園児健康診断	7月7日と11月17日の2回実施
歯科検診	9月16日の1回実施
保健だより	毎月家庭数配布
職員健康診断	年1回
職員検便	毎月、乳児担当、厨房担当実施
流行した感染症	<ul style="list-style-type: none"> ・突発性発疹で休む子もいたが流行はしなかった。 ・その他は、胃腸炎やRS ウィルスなど季節ごとに感染する子どもは見られたが、大きく広がってしまうことはなかった。 ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、国の指針に基づき対応をする。
その他、保険に関する取組	<p>8月29日・9月5日、10月24日普通救命救急講習受講 8月14日、15日と3月30日、31日に厨房設備の害虫駆除実施 希望する職員にインフルエンザの予防接種</p>

(4) 安全対策

ア 防災対策

1. 避難訓練等実施状況

実施日	訓練内容	消防署立会	消防署届出	その他
4月15日（水）	地震・火災・消火	無	無	
5月15日（金）	地震・火災・消火	無	無	
6月15日（月）	地震・火災・消火・通報	無	有	水消火器訓練
7月15日（水）	地震・火災・消火	無	無	
8月18日（火）	地震・火災・消火	無	有	
9月15日（火）	地震・火災・消火	無	無	
10月15日（木）	地震・火災・消火・通報	無	有	水消火器訓練
11月14日（金）	地震・火災・消火	無	無	
12月15日（金）	地震・火災・消火	無	無	
1月15日（金）	地震・火災・消火	無	無	
2月15日（月）	地震・火災・消火	無	無	
3月15日（月）	地震・火災・消火	無	無	

2. 非常災害備品の設置

アルミ製リヤカー、災害用ヘルメット、カセット式ストーブ、カセットガス

非常食、液体ミルクの購入、存期限間近の保存水、簡単湯沸かし器の交換。

3. 侵入者、不審者訓練

玄関の施錠時間の徹底

三丁目公園での不審者対応

4. 実施した環境整備の状況

・今年度も「遊・食・寝」を独立して行える環境にすることを意識し、環境設定を行った。にこにこの保育室では、「遊・食・寝」を意識しながらも、子どもたちが自由に回遊できる導線にすることで、食べる、遊ぶ、寝るの流れが、子どもたち一人一人の主体的な動きから自然に見られるようになり、自立心に繋がっていると感じている。

わくわく組では遊びの空間を広げコーナーを区切ることでじっくり遊びに集中する姿が多く見られた。姉妹園の3階保育室で、運動コーナーを設置しつつでも遊べる環境になっていた。キリンの台に登りダンスをしたり周りを見て遠くの景色見て子ども同士で会話をし楽しむ姿も多く見られた。

(5) 地域との関わり

市、自治会への参加

・毎月第一日曜日に複数名の保育士で地域清掃・ラジオ体操に参加

保育園発信の活動

・ハロウィン、伝承遊びウィークの行事を開催するにあたり、地域に手紙を配布し、遊びや行事に複数名の地域の方に参加していただく。

公益的な取り組み

「つながる相談窓口」開設 ステッカー、のぼりの設置 「衣類バンク」

保育年間計画の可視化 可視化して保護者に掲示

7. 危機管理

・毎月安全WTによるヒヤリハットの分析を行う。リスクの高い事例に関しては、具体的な対策などを話し合って次の事故防止に努めた。

・気づきボードを設置し、保育者一人一人が小さなことに気づき、声を上げることによって、安全な環境づくりにつなげる。

・子どもの興味のある遊びに合わせ環境を整えることで、欲求を満たし、子どもたち自身の安全力を高めていった。

・他園で起きた事故事例を確認し、注意喚起を行うとともに、自分での対応などを話し合った。

・誤飲事故を防ぐために、「食事中の心掛け」を共有し、食事の見守り方を徹底した。

8. 職員研修(園内研修)

【令和2年度 内部研修実績】

実施日	研修内容	参加人数
6月 27 日	・チャイルドフッドラボ 藤原里美先生 多様な子どもたちの発達支援	24名
7月 18 日	・合同園内研修（通達、委員会発表・Z o o mにて） すまいる保育園10のコツ、自己評価の気付き、グループディスカッション	32名
8月 29 日	・普通救命救急	5名
9月 3 日	・新型コロナウイルス感染症下における保育を考える	3名
9月 5 日	・普通救命救急	7名
	・チャイルドフッドラボ 藤原里美先生事例対応・マルトリートメント	17名
9月 26 日	・茂井先生によるZ o o m研修・事例対応、虐待、人権、保護者対応、研修報告	29名
10月 24 日	・S I D S, 嘔吐処理、オムツ替えの方法、いのちのリスト、保育について、書類、環境整備 ・普通救命救急	23名 5名
11月 14 日	・マニュアルの確認、ポートフォリオ、書類	25名
12月 12 日	・アップデート版CCW講習・ヒヤリハットディスカッション、子どもの人権、環境	27名
1月 31 日	・井上先生による環境づくり	10名
2月 13 日	・合同園内研修（通達、委員会・Z o o mにて）、各園の取り組み報告	23名
2月 20 日	・井上先生による環境づくり	26名
6月 22 日	・スッキリ会（連絡の仕方・内線の取り方・C H S・アレルギーや持病のある子どもの情報共有・保護者対応・新しい生活様式について）	8名
1月 18 日	・スッキリ会（ヒューマンエラーについて）	20名
実施日	研修内容	参加人数
6月 27 日	・チャイルドフッドラボ 藤原里美先生 多様な子どもたちの発達支援	24名
7月 18 日	・合同園内研修（通達、委員会発表・Z o o mにて） すまいる保育園10のコツ、自己評価の気付き、グループディスカッション	32名
8月 29 日	・普通救命救急	5名
9月 3 日	・新型コロナウイルス感染症下における保育を考える	3名
9月 5 日	・普通救命救急	7名
	・チャイルドフッドラボ 藤原里美先生事例対応・マルトリートメント	17名
9月 26 日	・茂井先生によるZ o o m研修・事例対応、虐待、人権、保護者対応、研修報告	29名
10月 24 日	・S I D S, 嘔吐処理、オムツ替えの方法、いのちのリスト、保育について、書類、環境整備 ・普通救命救急	23名 5名
11月 14 日	・マニュアルの確認、ポートフォリオ、書類	25名
12月 12 日	・アップデート版CCW講習・ヒヤリハットディスカッション、子どもの人権、環境	27名
1月 31 日	・井上先生による環境づくり	10名
2月 13 日	・合同園内研修（通達、委員会・Z o o mにて）、各園の取り組み報告	23名
2月 20 日	・井上先生による環境づくり	26名
6月 22 日	・スッキリ会（連絡の仕方・内線の取り方・C H S・アレルギーや持病のある子どもの情報共有・保護者対応・新しい生活様式について）	8名
1月 18 日	・スッキリ会（ヒューマンエラーについて）	20名

9. 外部研修

【令和2年度 外部研修実績】

実施日	研修名及び講師	研修内容	会場	参加人数
8月8日	NPO 法人保育子育てアドバイザー講習会・根ヶ山氏	子育ては親子の主体性のせめぎ合い	Zoom	1名
	NPO 法人保育子育てアドバイザー講習会・西田氏	データに基づく子どもの事故予防の実践	Zoom	1名
8月9日	NPO 法人保育子育てアドバイザー講習会・岡本先生	異文化の保育・幼児教育から捉え直す子どもの姿	Zoom	1名
	NPO 法人保育子育てアドバイザー講習会仲氏	子どもから何があったかを聞く技術	Zoom	1名
	NPO 法人保育子育てアドバイザー講習会・杉山氏	子どもの性格を理解し保育に活かす	Zoom	1名
7-12月	ドゥーラ	ドゥーラ	Zoom	1名
6月6日	藤原里氏・立石美津子氏	支援者として大切なこと	Zoom	1名
7月25日	須賀義一氏	子どもの人権と保育	Zoom	1名
8月30日	須賀義一氏	これから保護者支援	Zoom	1名
9月15日	子どもの文化学校	子どもたちとつくるインクルーシブ保育 ①AI・ロボット時代の子育てとは?	Zoom	1名
9月23-25日	主任保育士研修		となりのカフェにてリモート	1名
9月28, 29, 30日	厚生労働省	新任保育所長	Zoom	1名
10月15日	埼玉県産業労働部	女性キャリア研修 ロジカルシンキングについて		1名
11月15日	大豆生田先生	倉橋先生がどんな人か?	Zoom	1名
11月17日	子どもの文化学校	子どもたちとつくるインクルーシブ保育 ②一人ひとりの響き合いが命を輝かせる	Zoom	1名
11月30日～ 2月12日	ポピングズ	令和2年度企業主導型保育事業 施設長研修	Eラーニング	1名
12月15日 2月25日	児童育成協会	令和2年度企業主導型保育事業 保育安全研修	Zoom	1名
3年3月 日	汐見稔幸氏	21世紀型の保育へ	Zoom	1名
3月 日	汐見稔幸氏	保育の社会的な価値・保護者への意識	Zoom	1名
3月 日	汐見稔幸氏	子ども主体の保育前編・後編	Zoom	
2月26日	今井孝成氏	保育所等におけるアレルギー疾患に対する普及啓発講習会	Youtube	1名

【令和2年度 キャリアアップ研修実績報告書】

実施日	研修内容	研修場所	参加人数
12月3・4日	食育・アレルギー対応	ウェスタ川越	2名
11月7.2日	保健衛生・安全対策	Zoom	2名
12月21.22日	乳児保育	行田市商工センター	1名
1月18・19日	保護者支援・子育て支援	行田市商工センター	1名
1月9・12日	マネジメント	行田市商工センター	1名

10. 苦情解決のうち報告すべき事項

- ご意見箱や口頭、連絡帳等で寄せられた全ての意見、要望、苦情については、原則「苦情対応体制」に従い個別に対応した。
- ケースに応じて、法人本部に報告・相談し、指示を仰ぎながら対応した。

2020年度 鶴ヶ岡すまいる保育園 事業報告書

1. 2020年度 総括

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止により 4月からの緊急事態宣言が発出され、ふじみ野市からも登園自粛の要請がなされた。6月まで子どもの登園は通常の3割程度に減り、保育者も常勤者のみの出勤となった。登園自粛の期間中、園に来ている子どもたちは限られた友達関係の中で過ごすこととなり、寂しさが感じられ、新入園児については、慣れ保育が中断され、自粛明けの保育に不安を感じる形になってしまった。自粛にご協力を頂いている家庭に対しては、読み聞かせや折り紙、ダンスなどの動画を配信したり、園児からの手紙を送ったりするなど、保育園とのつながりが感じられるようにした。

5月末で、緊急事態宣言は解除されたが、ふじみ野市については7月末まで登園自粛が要請された。しかし、7月には登園児は徐々に増え、新入園児についても、保護者の要望に添い、慣れ保育の対応をした。保育者の体制も普段の体制に戻り、ほぼ3か月遅れでの新年度のスタートとなった。自粛期間終了後は、「新しい生活様式」での保育となった。具体的な感染対策として、一日3回の消毒、玩具の消毒や天日干しなどを行っている。登降園については、登園時の全員の検温を実施、降園時は、保護者の保育室への立ち入りをなくしテラスでの対応をしている。また、保育の内容については、一斉に活動を行う保育ではなく、子どもそれぞれが自由に活動をしていることから、普段の保育に限っては、特に制限を設ける必要はなかった。

しかし、「新しい生活様式」では、様々なことが制限されることとなり、特に地域の行事はことごとく中止となり今まで行っていた、地域との交流の機会もなくなってしまった。また、感染防止のため、たくさん的人が密集する保護者参加の園行事も中止となり、子どもと保育者のみで行い、オンラインでの生配信や動画配信などを行った。

保育環境としては、今年度は、井上先生の直接の指導を受けてのワークショップは行えなかつたが、子どもたちの声や、保育者の声を聴きながら、井上先生に、メールで相談し新しいものを作成した。今年度は、にこにこ組の保育室に、2歳児が集中して遊べる環境を作りたいという意見から、ロフトを作成した。たくさんの子どもたちが挑戦する姿が見られ、思ったよりも小さい年齢の子が登れるようになり、当初の目的とは多少違った形での使い方にはなっているが、集中してブロックを組み立てる姿や、頑張って登ろうとする姿が見られている。また、わくわく組の子どもたちから新しい遊具が欲しいという意見があり、今までになかつた形状や難易度の物を作成した。その結果、遊びが広がつたり、今まで挑戦しなかつた子が挑戦し、さらに高い土台にも挑戦するようになるなど、子どもたちの姿が変わっていった。そのほか園庭の環境として、築山にタイヤで階段を作るなど、少しずつ変化をつけていった。今後も子どもたちの希望や、保育者の意図を盛り込みながら、環境を整えたいと思う。

井上先生監修のもと環境を整え始めてから2年が経過し、ロフトや高台の環境の効果なのか、鉄棒で逆上がりができる子が増えたり、空中逆上がりなどの難易度の高い技ができる子も増えて子どもたちの変化が見られている。また、すまいる保育園の目標である、自立心を育む（体を使うのが大好きな子・頭を使うのが大好きな事・人と関わるのが大好きな子）が達成されていると感じた。



空中逆上がりをする4歳児

【にこにこ組ロフト】



頑張って、工夫をして一生懸命登ろうとしています。



ロフトの上でブロックに集中している子どもたち。その下では小さい子が楽しんでいます。

【園庭の箱型の高台】



箱型の高台の中で遊ぶ子ども達。みんなで楽しそうです。



2階に登って満足そうです。挑戦する姿が増えてきました。

《園バスの活用》

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、園バスを利用しての活動（姉妹園との交流、遠足等）は、細心の注意を払い、保護者にアンケートを実施したうえで行った。

「今昔村」「けやの森学園」「川越運動公園」「伊佐沼冒険の森」「自然学習センター」「子ども動物自然公園」その他姉妹園など、子どもたち（特に年長児）と話し合いをしながら、行先を決め実施した。消毒の実施、子どもたちの健康観察など感染対策をしっかりと行い感染予防に努めた。

園バスを利用した活動では、初めての場所、たくさん的人が利用する場所に行くことで、ルールーを守るなどの規範意識の芽生えたり、宙グループの安全パトロールを通して、「何が危ないのか」、「どうすれば安全に活動できるのか」など安全に対する意識が高まるなど、園内では体験できないことが体験でき子どもたちの成長につながると感じている。また、姉妹園との交流では、遊びや、友達関係の幅が広げられている。



バスの中の様子
感染対策もしっかりと！



こども動物自然公園
お別れ遠足の場所も見学コースもみんなで話し合って決めました。



伊佐沼すまいる保育園の周りは、農道や伊佐沼冒険の森などワクワクがいっぱい！



2. 児童利用状況

月別利用児童受託状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	5	5	5	5	5	6	9	9	9	9	9	9
1歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
2歳児	18	18	18	18	18	18	17	17	17	17	17	17
3歳児	16	16	16	16	15	14	13	13	13	13	12	12
4歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
5歳児	16	16	16	17	16	16	16	17	18	18	18	18

延長保育利用状況(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用総人数	71	51	112	165	119	139	154	170	152	149	141	168

3. 保育園開所時間

		保育標準時間	保育短時間	備考
早朝延長	7:00～8:00	最大 11 時間	有 料	
通常保育	8:00～16:00		最大 8 時間	
夕方延長	16:00～18:00		有 料	
有料延長	18:00～19:00	有 料		土曜日は無し

4. 職員

3月1日時点での在籍内訳

常勤職員	9	保育士	8	看護師	1	栄養士	0	事務	0
パート職員	24	保育士	13	看護師	0	栄養士	2	事務	1
		調理員	3	支援センター	3	嘱託医	2		

職員在籍状況(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在籍総数	35	35	33	33	33	33	34	32	32	32	33	33	398
うち施設長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
うち保育士正規	10	10	11	11	11	11	12	11	11	11	11	11	131
うち保育士パート	11	11	10	10	10	11	11	11	11	11	11	11	129
うち看護師	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
うち栄養士	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
うち調理員	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	26
うち用務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち事務	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
うち産休育休	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
うち保育補助	7	7	5	5	5	4	4	3	3	3	3	3	52

5. 運営報告

(1) 開催した施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
わくわく会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
にこにこ会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
にこわく会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リーダー会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

(2) 各種ワーキングチームを設置し、職員主体での運営

研修 WT	職員の資質向上に向けて組織的、かつ体系的な研修計画に基づいて進める
安全 WT	園内外の環境整備および保全、安全・防災に関する意識の強化、子どもと保護者への情報発信と学び合いに務める
食育 WT	健康な生活の基本としての「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培えるよう、食育計画の作成や食育環境、栄養管理などに取り組む 保育と給食の一体化を目指して栄養士、調理師、保育者が連携する。
保育 WT	保育理念、保育目標、保育所保育指針に基づいて、子どもの主体的及び非認知能力を伸ばす保育の在り方について実践を通して、議論を重ねつつ学びを深める。

地域 WT	地域と共に育ちあえる保育を目指して、地域との交流を深める。
-------	-------------------------------

6. 保育・処遇

(1) 保育・保護者面接および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	<ul style="list-style-type: none"> 保育者と保育内容や環境について共有し、適宜、悩みや戸惑いに寄り添えるよう努めた。 職員とは定期的に個別面談を行った。
保護者面談および発達相談	<ul style="list-style-type: none"> 発達相談として数回面談を行う。現在の子どもの状況などを共有することで、双方の理解を深めながら子どもへのかかわりや環境について考える。また、ケースにより、早めのお迎えや、保護者と一緒に登園要請、専門家への相談、病院受診のお願いなども行った。 子育てへの不安などに対し、適宜個別面談の時間を作る。友達との関わりなどについての不安が多く聞かれた。今後も育児に対する不安や戸惑いなどを表現できる環境、場づくりができるよう努めていきたい。
園児の保護者への支援および意見要望への対応	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、地域の行事や園行事が中止となり保護者総会等も開くことができないなど、保護者会活動がほとんど行われなかつた。意見要望等もほぼなかつた。保護者会主催の行事等については、来年度以降改めて話し合う必要がある。 保護者アンケートの実施（次年度の計画作成に向けて）

(2) 年間行事の振り返り

・今年度は新型コロナウイルス感染症により、保護者が参加する大きな行事、毎年参加していた地域の行事も中止になった。その中で、子どもたちと何が出来るのか、どうすれば出来るのかを考え、模索した。毎年参加している大井祭りでの「よさこい」では、子どもたちから「衣装を着て踊りたい」との意見が上がり、みんなで練習をし、園内で発表した。お祭りなども、子どもたちが話し合い、園内で実践をした。ふれあい遊び会の時期には、子どもたちの発達を中心に動画配信。ワインターフェスタでは、様子を生配信した。また、ハロウィンで行ったファッショショーンショーは姉妹園とオンラインでつなぎながら楽しんだ。人が集まれないなど、たくさんの制限がある中で、子どもたちと話し



お祭りは中止になってしましましたが、衣装を着て踊りました



ワインターフェスタの様子



合いながら、オンラインの環境を活用し、行事が行えたことは今後に繋げられると感じている。コロナ禍であっても、保育参加については、一日一組にして行った。保護者参加の行事が中止になり、保育園での様子を見る機会がなくなる中で、お子さんの成長を保護者と共有できるいい機会となり、保育園への理解も深まったと思う。また、クラス懇談会をZOOMにて開催した。参加者が少なく課題も残るが、一つ

の選択肢として今後も活用できると思う。

(3) 給食・食育運営状況

- ・今年度も、昨年から引き続き食事の時間に幅を持たせることで一人一人に合わせてゆったりと食事を楽しめるようにしてきた。保育者の理解も深まっていて、子どもたちも自分のペースで食事をしている。
- ・厨房と保育の一体化としては、食育 WT の話し合いを通して食育についての情報共有に努めている。
- ・定期的ににこにこ組、わくわく組ともクッキングを行ったり、畑で好きな野菜を栽培したりする中で、収穫する喜びを感じたり、実際に食材に触ることを通して食に興味を持つことが出来た。また焼き芋会、お餅つきなど戸外での調理を通して、調理の楽しさを実感したり、火起こしや火の取り扱い方等を知ったり、苦手な食材が食べられたりする等、たくさんの経験ができる活動になっている。



ニンジンの型抜き
自分で型抜きをしたニンジン
は完食！



焼き芋会で焼くサツマイモを
栽培



お餅つき
火おこしをして、お米の違い、におい、もち米の変化などたくさん経験しました。

(4) 保健に関する実施結果

園児健康診断	7月15日と10月14日の2回実施
歯科検診	9月30日の1回実施
保健だより	毎月児童数配布
職員健康診断	年1回
職員検便	毎月、乳児担当、厨房担当、食育担当実施
流行した感染症	<p>・今年度は、ヘルパンギーナ、突発性発疹、水痘で数名の感染症の罹患はあったものの、インフルエンザの感染はなかった。またコロナウイルス感染症についても、感染はなくPCR検査の対象になった園児もいなかった。</p> <p>*1歳児で0-157の感染が確認され、保健所の調査が入る。関係園児・職員の検便を実施したが全員陰性が確認される。</p>
その他、保健に関する取組	8月29日、9月5日、10月24日の3回に分けて普通救命救急講習受講 8月13日、14日と3月30日、31日に厨房設備の害虫駆除実施 希望する職員にインフルエンザの予防接種

(5) 安全対策

ア 防災対策

1. 避難訓練等実施状況

実施日	訓練内容	消防署立会	消防署届出	その他
4月17日（金）	避難・消火	無	無	
5月13日（水）	避難・消火	無	無	
6月15日（月）	避難・消火・通報	有	有	通報訓練 水消火器訓練
7月16日（木）	避難・消火	無	無	
8月20日（木）	避難・消火	無	無	
9月16日（水）	避難・消火	無	無	
10月15日（木）	避難・消火・通報	有	有	通報訓練
11月18日（水）	避難・消火	無	無	
12月18日（金）	避難・消火	無	無	
1月15日（金）	避難・消火	無	無	
2月19日（金）	避難・消火	無	無	
3月15日（月）	避難・消火	無	無	

2. 非常災害備品の設置

- ・避難用テント、カセットガストーブを購入する。非常食の追加購入

3. 侵入者、不審者訓練

- ・警察立ち合いの訓練は実施できなかったが、園内研修にて、不審者が入った時の動き方、通報装置の確認、防犯グッズの確認などを行う。

4. 実施した環境整備の状況

- ・園庭の遊具の劣化が見られたものを、取壊し新しい遊具を作る。
- ・土台からの落下に備え、土の掘り起こしを定期的に行う。（耕運機購入）
- ・夏のテラスが熱くなるため、日よけを付ける。（夏期のみ）
- ・風のテラスを整備し、子どもが遊んだり、職員が休憩できるようにした。

(6) 地域との関わり

ア 子育て支援

- ・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため地域の行事への参加、地域の方を園行事にお誘いすることができなかった。オンラインでの交流を試みたが実現には至らなかった。
- ・掲示板を活用し園の様子を発信する。また、ホームページのブログで園の様子を発信する。

イ つどいのひろば

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止により6月まで閉室。再開後は一日の予約を半分にし開室する。その後も、オンラインひろばを実施する等コロナ禍での子育て支援センターの活動をしている。

ウ 一時預かり事業

- ・緊急事態宣言の発出により、8月までは受け入れをしなかった。9月より受け入れを再開、就労での定期的が多く、一部は本入園に繋がっている。また定期的にリフレッシュの利用もある。

7. 危機管理

- ・安全委員会の取組として、事故防止のための命のリストの見直しを行う。重大事故につながる、「SIDS」「誤飲」「水の事故」についての項目を毎日確認することになった。
- ・日常の保育の中での「気づき」を記入する、「気づきのノート」を作成し、日々のちょっとした気づきを共有することで、保育環境の改善につなげている。
- ・ヒヤリハットは、今年度も「インシデント」「ヒヤリ」「事故」に分類しているが、内容の分析をしやすいように事故の種類を分類し事故防止に繋げられるようにする。同時に、ケガリストを作成、誰がどんなケガをしたのかを記録することで、ケガの傾向を知るのに役立てる。
- ・他園で発生した事故事例について、安全委員会を通して共有し、自園での対応を話し合う。

8. 職員研修

【令和2年度 内部研修実績】

実施日	研修内容	参加人数
4月 25日	資料配布 ・アレルギー　・SIDS　・誤飲誤嚥　・個人情報	
5月 30日	同上	
6月	・熱中症　・水の事故　・散歩マニュアル　・発達について学ぶ「いやいや期、片付け」	名
6月 27日	合同研修（ふじわら先生）　・子どもの行動のなぜを考える	19名
7月 18日	合同研修　・委員会、法人報告	名
9月 5日	・救命救急 合同研修（ふじわら先生）　・インクルーシブな保育実践のための障害理解と子ども理解	17名
9月 26日	・棚卸し　・上尾の事故について　・不審者対応　・虐待　ZOOM研修（しげい先生）	18名
10月 24日	・保護者対応	21名
11月 14日	・感染症　・人権　・ウインター準備	16名
12月 26日	・大掃除	15名
1月 31日	ワークショップ（井上先生）　高階での環境整備	10名
2月 日	・来年度の計画についての立案　・合同研修	18名
2月	ワークショップ（井上先生）　となりでの環境整備	10名
3月	・新学期準備	名

【令和2年度 外部研修実績】

実施日	研修名及び講師	研修内容	会場	参加人数
4月 22日				
5月 27日				
6月 17日				
7月 22日				
9月 16日	臥竜塾（21世紀型保育のススメ）	チーム保育 行事 食育	ZOOM	1名
10月 21日				
11月 18日				
12月 23日				
1月 13日				
2月 24日				

6月 16.17 日 7月 7.21 日	マメ先生と倉橋惣三を旅するゼミ①～④	オンライン	ぐうたら村	1名
7月 19 日	第八回ぐうたら村セミナー	オンライン	ぐうたら村	1名
8月 6.12. 19.26 日 9月 2 日	汐見先生と「保育を原理から考え直す」 ①～⑤	オンライン	ぐうたら村	1名
9月 14 日 10月 5 日 11月 30 日	発達と支援を考える教室	ZOOM	子どもの文化学校	1名
9月 14.28 日	保育の中の子どもの権利	ZOOM	子どもの文化学校	名
9月 1 日	ドゥーラ養成講座	ZOOM (実習以外)	ドゥーラ協会	1名
9月 16 日	子育て支援従事者研修		埼玉県庁	1名
11月 20 日	体験活動普及講演会 「体験から探求へ」		狭山市市民交流センター	1名
9月 16 日	子育て支援従事者研修		埼玉県庁	1名
11月 24 日	今こそ求められる保育園の在り方/人とのつながり	ZOOM	汐見先生	1名
1月 18 日	一時預かり事業		埼玉県産連研修センター	1名
2月 9 日	すまいる保育園の実践報告	ZOOM	臨床研究会	1名
2月 26 日	アレルギー疾患講習会	オンライン	厚生労働省	1名

【令和2年度 キャリアアップ研修実績報告書】

実施日	研修内容	研修場所	参加人数
9月 2.10 日	食育・アレルギー対応	登場パークビルディング	2名
11月 27 日	乳児保育	ウエスタ川越	1名
1月 18.19 日	保護者支援・子育て支援	行田市工商センター	1名

9. 苦情解決のうち報告すべき事項

- ご意見箱や口頭、連絡帳等で寄せられた全ての意見、要望、苦情については、原則「苦情対応体制」に従い個別に対応した。

令和2年度 高階すまいる保育園 事業報告書

1. 令和2年度 総括

本年度4月、44名の園児を迎えて記念すべき第一歩を踏み出した。地域の皆様に「ここに保育園があってよかったです」と思っていただけるような園を目指して、職員のチーム作りから始まり、①一人一人の子どもの状況、生活実態を把握する。②子どもの思い・願い・生活リズム等を受容し、子ども主体の保育を行う。③子どもの育つ環境を整備する。④子どもの発達を理解する。⑤保護者と連携する。これら5項目を掲げて、保育士・看護師・栄養士・調理士等が全員体制で子どもの生活を支え、子どもたちの生き生きとした姿を増やせるように全力で取り組んできた。

入園希望の見学者からは「回遊性をコンセプトに建てられた遊び心溢れる遊環構造と解放感ある園舎に魅力を感じた」という声が寄せられ、とりわけ0,1歳児の需要が高く、地域のニーズに応えて毎月の新入園児を受け入れてきた結果、年度末には園児数78名となり定員数をほぼ満たす運営に繋がった。

1月には、井上寿先生（一級建築士・日本保育環境学会こども環境アドバイザー）にご来園いただき、姉妹園からの応援を得て総勢56名によるワークショップを開催し、わくわく組保育室に高さ約3.5mのロフト、園庭テラスに高さ約2.5mのロフト、ひょうたん池の上に高台、屋上庭園にブランコを設置する。

心も体もフル回転させて遊ぶ子どもの目の前に何を置くか話し合い、どんな学びの価値をもっているか、それを引き出すための活動にはどんなことができるか、子どもの主体的な活動をどのようにして可能にするかを考え、これからも環境整備を進めていきたい。



【回遊性】らせん滑り台



【回遊性】わくわく組 ロフト



屋上庭園（木の広場） 高台 スパイダーネット





井上寿先生のご指導の下、姉妹園合同ワークショップ

今年度は新型コロナウィルス感染予防の観点から、クラス懇談会等、保護者同士の交流は難しい状況にあっても、参加の仕方を工夫して、子どもの発達と自己肯定感を育むことを第一に考えた活動を行つてきた。園バスあることで、鶴ヶ岡の子どもたちが遊びに来てくれたり、こちらから出向いたり、すまいるの仲間として交流ができた。今後も園バスを利用して経験の幅を広げていきたい。

自粛期間中には、職員は得意分野を活かして家族で楽しめる企画を考案し、絵本の読み聞かせ、歌遊び、手作り制作等を収録した動画を限定配信している。これまで経験したことのない不安な状況下において、長期間家庭で過ごす子どもたちのために園としてできることを考え、新たな支援に取り組んだ。



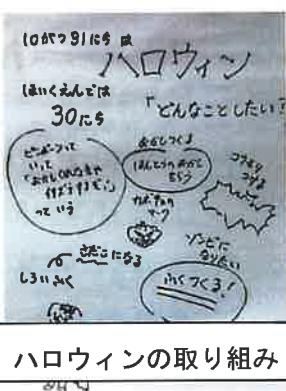
水かけ祭り



秋祭り



園バスで三富今昔村



ハロウインの取り組み



もちつき



ウインターフェスタ

鶴ヶ岡&高階 わくわく交流

本園開設にあたり、貴重な土地を提供してくださった地主の有山様、設計士の山岸様、横尾建築様、竣工式にて有難いお言葉を賜った市議員村山様、自治会長米良様、久保田様、工事期間中より温かく見守ってくださった地域の皆様、多くの皆様に支えていただき今日があることを忘れず、保護者の皆様と一緒に未来を担う子どもたちを育んでいきたい。

2. 児童利用状況

月別利用児童受託状況

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	7	7	6	8	13	18	20	21	21	21	21	21
1歳児	19	24	22	24	24	24	24	23	23	24	24	24
2歳児	5	9	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12
3歳児	6	7	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9
4歳児	4	5	5	7	7	7	7	7	7	7	7	7
5歳児	3	3	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5

延長保育利用状況(延べ人数)

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用総人数	8	28	62	69	129	121	114	226	157	181	162	169

3. 保育園開所時間

		保育標準時間	保育短時間	備考
早朝延長	7:00～8:00	最大 11 時間	有 料	
通常保育	8:00～16:00		最大 8 時間	
夕方延長	16:00～18:00		有 料	
有料延長	18:00～19:00	有 料		土曜日は無し

4. 職員

3月1日時点での在籍内訳

常勤職員	11 人	保育士	10 人	看護師	0 人	栄養士	1 人	支援センター	0 人
パート職員	27 人	保育士	13 人	看護師	3 人	栄養士	1 人	支援センター	0 人
		調理員	2 人	保育補助	6 人	嘱託医	2 人		

職員在籍状況(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍総数	/ 29	/ 29	30	30	32	32	32	33	35	35	35	35
うち施設長	/ 1	/ 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
うち保育士正規	10 / 9	10 / 9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
うち保育士パート	7 / 8	7 / 8	9	9	11	11	11	12	13	13	13	13
うち看護師	/ 2	/ 2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
うち栄養士	2 / 7	2 / 7	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
うち調理員	/ 2	/ 2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
うち用務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち子育て支援	0 / 1	0 / 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
うち産体育休	0 / X	0 / X	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
うち保育補助	5 / 4	5 / 4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5

5. 運営報告

(1) 開催した施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
わくわく会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
にこにこ会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
リーダー会	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

(2) 各種ワーキングチームを設置し、職員主体での運営

研修 WT	職員の資質向上に向けて組織的、かつ体系的な研修計画に基づいて進める
安全 WT	園内外の環境整備および保全、安全・防災に関する意識の強化、子どもと保護者への情報発信と学び合いに務める
食育 WT	健康な生活の基本としての「食を通した命の営み」の育成に向け、その基礎を培えるよう、食育計画の作成や食育環境、栄養管理などに取り組む 保育と給食の一体化を目指して、栄養士、調理員、保育者が連携する
保護者 WT	保護者の様々な意見に基づいて相互の理解や信頼を深める
保育 WT	保育理念、保育目標、保育所保育指針に基づいて、子どもの主体性及び非認知能力を伸ばす保育のあり方について実践を通して、議論を重ねつつ学びを深める
地域 WT	地域とともに育ちあえる保育を目指して、地域との交流を深める

6. 保育・処遇

(1) 保育・保護者面接および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	<ul style="list-style-type: none">・保育の振り返りを毎日行い「見守る保育強化月間」を実施した・園便り（号外含む）、キッズリー（公開日誌）、ポートフォリオ、ドキュメンテーション、ブログ等を通じて保育内容を積極的に伝え、保育の可視化に努めた・送迎時の対話をはじめ、日頃のコミュニケーション、保育参加・個人面談を行い保護者と子どもの育ちを共有した
保護者面談 および 発達相談	<ul style="list-style-type: none">・現在の子どもの状況を共有することで、双方の理解を深めながら子どもへのかかわりや環境について考える場を設けた・川越市とタイアップした巡回発達相談を通して作業療法士の指導の下、適切な対応に努め、専門家の助言を保育に活かすことができた・保護者の悩み等は、適宜個別面談を行い、子育ての不安を解消した
園児の保護者への支援 および 意見要望への対応	<ul style="list-style-type: none">・口頭による要望、連絡帳の記載内容等、小さな事柄であっても相手の立場に立って、保護者が応えやすい聞き取り、保護者的心に響くような伝え方に配慮し、新規開設園として、人と人との関わりを大切にした・保護者アンケートの集約結果、保育参加の感想では好意的なものが多く、感謝の気持ちをキッズリーや園便り等で伝えた・来年度の「全体的な計画」立案にあたり、保護者アンケートを実施した

(2) 年間行事の振り返り

- ・開園初年度は、新型コロナウィルス感染予防を余儀なくされる1年間であった。入園式は、にこにこ組・わくわく組の二部形式に組み替えて短時間で行い、当初保護者の参加を予定していた「夏祭り」「親子ふれあい遊び会」「ウインターフェスタ」は園児と職員で取り組み、「卒園式」は参加者を制限して屋上庭園を活用する等、感染症対策に配慮した内容に変更した。
- ・日々の保育の積み重ねが行事につながり、子どもたちの体験の幅を広げていきたいという考えを持ち、子どもの発想を大切にして、意欲的に取り組めるように工夫した。
- ・来年度は、子どもたちが行事を通して地域の方と繋がっていく機会を設けたい。

(3) 給食・食育運営状況

- ・個々の発達や生活リズム等に合わせて、和やかに食事が出来るよう、個々の気持ちを尊重した関りを心がけ、一人ひとりのペースに合わせた食事が摂れるようになった。
- ・サツマイモやトウモロコシ、七草といった季節の食材に触れたり感じたりする活動を日々の保育に取り入れ、それを実際に給食として出る姿と見比べて食材の形の変化を楽しむ姿が見られた。
- ・厨房調理員も園児の配膳へ積極的に取り組み、食べる様子を見て個々に合わせた声掛けを行った。また、食べる様子を把握することで調理過程において切裁や調理、配膳方法などの工夫を行うことができた。

(4) 保健に関する実施結果

園児健康診断	年2回実施（7月15日・10月14日）
歯科健診	年1回実施（9月2日）
保健だより	毎月児童数配布
職員健康診断	年1回
職員検便	年度当初：全職員 毎月：0歳児担当・厨房担当者実施
流行した感染症	ヘルパンギーナ、溶連菌感染症（いずれも集団感染には至らず）
その他、保健に関する取組	9月5日：普通救命救急講習受講 8月14日、3月30日、31日に厨房設備の害虫駆除実施 希望する職員にインフルエンザの予防接種

(5) 安全対策

1. 避難訓練等実施状況

実施日	訓練内容	消防署立会	消防署届出	その他
4月22日（木）	避難・初期消火	無	無	
5月28日（木）	避難・初期消火	無	無	
6月15日（月）	避難・初期消火・通報	無	有	総合訓練
7月16日（木）	避難・初期消火	無	無	
8月18日（火）	避難・初期消火	無	無	
9月15日（火）	避難・初期消火	無	無	
10月13日（火）	避難・初期消火・通報	無	有	総合訓練
11月12日（木）	避難・初期消火	無	無	
12月15日（火）	避難・初期消火	無	無	
1月18日（月）	避難・初期消火	無	無	
2月16日（火）	避難・初期消火	無	無	
3月15日（月）	避難・初期消火	無	無	

2. 非常災害備品の設置

- ・ 非常災害備品、倉庫、を新規購入する。
- ・ 賞味期限を確認して、備蓄用品を点検した。

3. 侵入者、不審者訓練

- ・ 今年度はコロナウィルス感染拡大防止のため、警察立ち合いの不審者訓練は実施に至らず。

4. 実施した環境整備の状況

- ・ 命のリストによる日々の環境整備について、園内研修にて確認した。
- ・ 日々の振り返り、昼礼等による各クラスの環境整備を実施した。
- ・ 井上寿先生（一級建築士・日本保育環境学会こども環境アドバイザー）の指導のもと環境整備をした。

(6) 地域との関わり

ア 子育て支援

- ・ 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため地域との交流は控え、外掲示板・自治会への園だより配布を通して園の様子やお知らせを発信した。
- ・ 9月から始めたブログでは、インターネットを通じて多くの方へ園の様子を発信した。

イ ひろば事業

- ・ 毎週木曜日【10:00～11:30】つどいの広場の部屋・園庭の開放にて多くの地域の方にご参加いただいた。
- ・ 月一回、製作やイベントの開催（クリスマス会、園外活動、手形・足形アート）

ウ 一時預かり事業

- ・ 就労（4名）・リフレッシュ保育での利用（在園児同じ空間での保育）が多かった。
今年度の一時預かり利用者の延べ人数は約300名となり、初年度として大きな成果をあげることができた。
- ・ 就労のご家庭から、入園の希望が非常に多かった。

7. 危機管理

- ・ 毎日の晨礼にて、インシデントやヒヤリハットとして、事故に繋がりそうなものを報告し合い、共有してきた。
- ・ リスクの高い事例に関しては、具体的な対策が取れているかどうか確認し、不十分であった時には対策を講じてきた。
- ・ 他園で発生した事故事例等について、姉妹園の代表者が集まる安全分科会等を通して共有し、自園の対応を話し合った。
- ・ 新しくロフトを製作したり、リスクを伴う遊具が出来たため、改めて子どもたちと一緒に遊び方を考え、子どもの安全力を高める機会となった。
- ・ 新規開設園のため、安全に関するチェックや見守り方などを園内研修、話し合いを通して共有した。
- ・ 園外保育（散歩等）での安全管理、見守り方、経路などを園内研修で実際に保育者が歩き、確認を行った。



園周辺の経路と公園情報を掲示



ロフト等の遊びの留意点



8. 職員研修(園内研修)

【平成 31 年度 内部研修実績】

実施日	研修内容	参加人数			
4月 25 日	・個人情報 ・アレルギー対応 ・午睡のあり方	・守秘義務の重要性 ・誤飲、誤嚥予防 ・気づきのシート	・乳幼児突然死症候群 (SIDS) 予防 ・保育環境 ・人権について	15名	
5月 13 日	・保育の安全 ・厨房より	・危機管理 ・にこちゃんマニュアル確認	・熱中症対応(暑さ指数含む) ・ヒヤリハット	・上尾の事故事例 ・虐待	15名
6月 27 日	★姉妹園(伊佐沼・鶴ヶ岡・三丁目) 合同研修	※ZOOM 合同研修	テーマ「多様な子どもたちの発達支援」子どもの行動の何故を考える①	講師 一般社団法人チャイルドフード・ラボ 代表理事 藤原里美氏	15名
7月 18 日	★姉妹園合同研修	※ZOOM 合同研修	・保育部会各位委員会報告 ・グループディスカッション	・法人本部より	15名
8月 29 日	・電話対応	・人権擁護マニュアル	・保育評価スケール		15名
9月 5 日	午前 救命救急講習会 午後 ★姉妹園(伊佐沼・鶴ヶ岡・三丁目) 合同研修	テーマ「多様な子どもたちの発達支援」子どもの行動の何故を考える②	講師 一般社団法人チャイルドフード・ラボ 代表理事 藤原里美氏		21名
9月 26 日	午前【園内研修】 午後 ★姉妹園合同研修	テーマ「インクルーシブな保育実践」気になる子どもの理解と保育者の援助について	講師 文京学院大学准教授 茂井万里絵氏		16名
10月 24 日	・虐待 ・クオーレ ・事務連絡	・ポートフォリオ ・嘔吐処理	・行事について		14名
11月 14 日	・子どもの発達	・保育環境 ・移行期の保育	・感染症対策		15名
11月 12 日	・エール運動遊び	講師：斎藤元気氏			2名
12月 12 日	・ブログ	・ドキュメンテーション ・チャイルドケアウェブ	・グループディスカッション		14名
12月 26 日	・年末大掃除				24名
1月 31 日	★姉妹園合同研修	井上先生ワークショップ			16名
2月 13 日	午前【園内研修】 午後 ★姉妹園合同研修	保育の安全 食育 グループディスカッション ・保育部会各委員会報告 ・法人本部より			15名
2月 20 日	★姉妹園合同研修	井上先生ワークショップ			10名
3月 27 日	・新年度準備				15名
7/16 9/17 11/19	ミドルリーダー会議(姉妹園のミドルリーダーによるメンバー構成) 現状報告 意見交換 課題抽出 改善策検討				1名

【R 2 年度 外部研修実績】

実施日	研修名及び講師	研修内容	会場	参加人数
5月 3 日	藤原里美氏	感覚統合を支援に活かす(基礎)	ZOOM	1名
5月 4 日	藤原里美氏	感覚統合を支援に活かす(応用)	ZOOM	1名
5月 8 日	星山麻木氏	第1回星と虹色と子どもたち講座	ZOOM	1名
5月 9 日	藤原里美氏	1日で学ぶペアレントトレーニング	ZOOM	1名
5月 19 日	藤原里美氏	巡回指導のポイント	ZOOM	1名
5月 22 日	星山麻木氏	第2回星と虹色と子どもたち講座	ZOOM	1名

5月 24日	茂木健一郎氏	星と虹色と子どもたちワークショップ	ZOOM	1名
5月 27日	藤原里美氏	感覚統合を活かした遊び・運動プログラム	ZOOM	1名
6月 5日	汐見稔幸氏	人間学(コロナ禍に人間を考える)	ZOOM	1名
6月 12日	星山麻木氏	第3回星と虹色と子どもたち講座	ZOOM	1名
6月 12日	汐見稔幸氏	汐見稔幸と読むデューイ	ZOOM	1名
6月 20日	藤原里美氏	藤原式コンサルテーション養成講座①	ZOOM	1名
6月 20日	川邊貴子氏	『河邊先生と考える記録するって…』第1回	ZOOM	1名
6月 29日	塩崎美穂氏	子どもの文化学校「保育を支える思想と哲学」①	ZOOM	1名
7月 4.5日	星野優美子氏	PCMbasic セミナー	ZOOM	1名
7月 5日	窪田純氏	ぐうたら村リベラルアーツの講座～空を読む～	ZOOM	1名
7月 12日	汐見稔幸氏	『汐見稔幸と読むデューイ』第2回	ZOOM	1名
7月 18日	藤原里美氏	藤原式コンサルテーション養成講座②	ZOOM	1名
7月 19日	汐見・星山・井本氏	講演会「コロナ自粛から見えてきた多様な学びのデザイン」	ZOOM	1名
7月 24日	汐見稔幸氏	『汐見稔幸と読むデューイ』第3回	ZOOM	1名
8月 1日	川邊貴子氏	『河邊先生と考える記録するって…』第2回	ZOOM	1名
8月 7日	川田学氏	子どもの文化学校「保育を支える思想と哲学」②	ZOOM	1名
8月 22日	大豆生田啓友氏	夏の保育アカデミー①	ZOOM	1名
8月 23日	汐見稔幸氏	夏の保育アカデミー②	ZOOM	1名
8月 29日	井桁容子氏	夏の保育アカデミー③	ZOOM	1名
8月 29日	藤原里美氏	藤原式コンサルテーション養成講座③	ZOOM	1名
8月 30日	小西貴士氏	夏の保育アカデミー④	ZOOM	1名
8月 31日	加藤繁美氏	子どもの文化学校「保育を支える思想と哲学」③	ZOOM	1名
9月 19日	藤原里美氏	藤原式コンサルテーション養成講座④	ZOOM	1名
10月 12日	大宮勇男氏	子どもの文化学校「保育を支える思想と哲学」④	ZOOM	1名
10月 17日	藤原里美氏	藤原式コンサルテーション養成講座⑤	ZOOM	1名
10月 19日	佐藤将之氏	子どもの文化学校「思い」からはじまる保育環境①	ZOOM	2名
11月 1日	長谷川義史氏	秋の保育アカデミー①	ZOOM	1名
11月 4~6日	厚生労働省	中堅主任保育士研修	ZOOM	1名
11月 8日	青山誠氏	秋の保育アカデミー②	ZOOM	1名
11月 15日	井桁容子、佐伯胖氏	秋の保育アカデミー③	ZOOM	1名
11月 19日	川田学氏	子どもの文化学校「保育を支える思想と哲学」⑤	ZOOM	1名
11月 23日	汐見稔幸氏	秋の保育アカデミー④	ZOOM	1名
11月 24日	ルクミー	保育をどうしよう未来会議	ZOOM	1名
11月 29日	落合恵子	秋の保育アカデミー⑤	ZOOM	1名
11月 29日	汐見稔幸氏	ぐうたら村「人間学」①	ZOOM	1名
12月 5日	藤原里美氏	藤原式コンサルテーション養成講座⑥	ZOOM	1名
12月 7日	加藤繁美氏	子どもの文化学校「保育を支える思想と哲学」⑥	ZOOM	1名

12月19日	汐見稔幸氏	ぐうたら村「人間学」②	ZOOM	1名
12月23日	藤原里美氏	早期発達支援学会 事例報告書の書き方	ZOOM	1名
12月30日	子どもの文化学校	子どもと喜びや楽しさを共有する	ZOOM	1名
1月27日	日本保育協会	園長管理職研修	ZOOM	1名
1月23日	浅羽・聰美雄介氏	子どもの造形表現に関わる「わたし」の在り方1	ZOOM	1名
1月24日	浅羽・聰美雄介氏	子どもの造形表現に関わる「わたし」の在り方2	ZOOM	1名
2月7日	汐見稔幸氏	ぐうたら村「人間学」④	ZOOM	1名
2月7日	大豆生田啓友氏	冬の保育アカデミー①	ZOOM	1名
2月11日	加藤博氏	冬の保育アカデミー②	ZOOM	1名
2月14日	永田佳之氏	冬の保育アカデミー③	ZOOM	1名
2月19日	藤原里美氏	感覚の評価を支援に生かす JSI-R を用いて	ZOOM	1名
2月21日	汐見稔幸氏	冬の保育アカデミー④	ZOOM	1名
2月23日	井桁容子、佐伯胖氏	冬の保育アカデミー⑤	ZOOM	1名
2月28日	小西貴士氏	冬の保育アカデミー⑥小西貴士	ZOOM	1名
2月9日	厚生労働省	保育所における自己評価ガイドライン改訂版に関する研修	ZOOM	1名
2月9日	汐見稔幸氏	臨床育児保育研究会 姉妹園実践報告	ZOOM	2名
2月16日	子どもの文化学校	絵本を保育の真ん中に	ZOOM	1名

【R2年度 キャリアアップ研修実績報告書】

実施日	研修内容	研修場所	参加人数
9月15.16.23日	幼児教育	オンライン	1名
10月30.31日	保護者支援・子育て支援	ウェスタ川越	1名
12月3.4日	食育・アレルギー対応	ウェスタ川越	1名
12月11.12日	幼児教育	ウェスタ川越	1名
12月14.17日	マネジメント	ウェスタ川越	1名

【R2年度 子育て支援員研修実績報告書】

実施日	研修内容	研修場所	参加人数
1月18日・2月8.5日	地域保育コース一時預かり事業	埼玉健産連研修センター・オンライン	1名
12月27日	地域子育て支援コース	ウェスタ川越	3名

9. 苦情解決のうち報告すべき事項

- ご意見箱や口頭、連絡帳等で寄せられた全ての意見、要望、苦情については、原則「苦情対応体制」に従い個別に対応した。
- ケースに応じて、法人本部に報告・相談し、指示を仰ぎながら対応した。

令和2年度 となりのすまいる保育園 事業報告書

1. 令和2年度 総括

令和2年4月に開園した企業主導型のとなりのすまいる保育園。

19名定員のところ 13名でスタートいたしました。入園式後慣れ保育中にコロナで緊急事態宣言が発令し、多くの保護者の方が自粛されました。

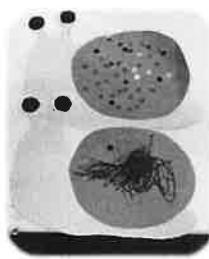
小・中学校等の教育機関も休日となり、自宅で過ごす期間が1か月を経とうとした頃、園として何ができるだろうか?との思いで絵本を紹介したり、わらべ歌と一緒にやりましょうと声を掛けた動画を配信したりとお家での時間を親子で楽しんでもらえるような工夫を提案していきました。

また、簡単な製作を紹介し園の方で材料のキットを用意し月刊絵本と一緒に郵送をしました。その後、お子さまの様子や保護者様の就労状況・動画配信を見ての感想・郵送の到着状況等の確認を兼ねて週1で保護者の方に電話連絡を入れました。ほとんどの方が園の動画配信を見ていただき、お子さまが先生たちの姿を見て「○○先生」と声を出したり、先生の動きを真似たりと喜んでいます。または助かります。との温かいお話を聞くことができました。そして、なかなか出勤できない親御さんの思いも伝えていただきました。

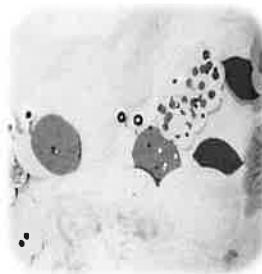
保護者の方も社会状況で不安の中自粛できず出勤され、日々の通勤で健康状態が不安であったと思思います。そういった両方の思いを理解し、日々の消毒に努めた2ヶ月間がありました。



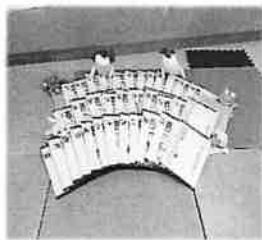
テントウ虫の製作



カタツムリの製作



園の玄関先に作っていただいたものを飾りました



した。
ゆう
パック
だ配
送しま
4月自
粛され
た家庭に

保育環境では、4・5月は人数も少な三丁目すまいる保育園との合同保育を行った。子どもの姿に合わせた環境作りを三丁目すまいる保育と連携し日々振り返り、変更することも数回ありました。

保育の面は、広い年齢での異年齢保育、少人数での保育により家庭的な雰囲気であった。子ども同士の

関わりで多くのことを学ぶ姿があり、優しさが育っていた。

2. 児童利用状況

月別利用児童受託状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	0	0	0	1	1	2	2	2	2	3	3	3
1歳児	5	5	5	7	6	6	7	8	7	7	7	7
2歳児	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3歳児	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
4歳児	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1

延長保育利用状況(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用総人数	0	0	3	1	2	2	1	6	3	1	1	4

3. 保育園開所時間

		保育標準時間	保育短時間	備考
早朝延長	7:00～8:00	最大 11 時間		
通常保育	8:00～16:00		最大 8 時間	
夕方延長	16:00～18:00			
有料延長	18:00～19:00	有 料	有料	土曜日は無し

4. 職員

3月1日時点での在籍内訳

常勤職員	2人	保育士	1人	看護師	0人	栄養士	0人	支援センター	0人
パート職員	12人	保育士	5人	看護師	1人	栄養士	0人	支援センター	0人
		調理員	0人	保育補助	6人	嘱託医	2人		

職員在籍状況(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍総数	10	8	12	12	12	11	13	13	13	15	14	14
うち施設長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
うち保育士正規	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
うち保育士パート	2	2	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5
うち看護師	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
うち栄養士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち調理員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち用務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち子育て支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち産休育休	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち保育補助	6	4	6	6	6	5	7	7	7	8	7	7

5. 運営報告(三丁目すまいる保育との連携)

(1) 開催した施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
わくわく会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
にこにこ会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
フリー会	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 各種ワーキングチームを設置し、職員主体での運営

研修 WT	職員の資質向上に向けて組織的、かつ体系的な研修計画に基づいて進める
安全 WT	園内外の環境整備および保全、安全・防災に関する意識の強化、子どもと保護者への情報発信と学び合いに務める
食育 WT	健康な生活の基本としての「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培えるよう、食育計画の作成や食育環境、栄養管理などに取り組む

6. 保育・処遇

(1) 保育・保護者面接および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	<ul style="list-style-type: none"> 日中の保育だけでなく遅番のヘルプなど、積極的に子どもの中に入ることで、子どもたちの様子から見えるエピソードなどを共有し、環境整備などの相談に乗れるよう努めた。 職員とは自己評価を基に定期的に個別面談を行った。
----	---

保護者面談	・保育参加の際、保護者との面談を行い、保育園での生活の様子や、発達について共有した。
園児の保護者への支援および意見要望への対応	・特に保護者からのご意見を頂くことがなかったため、面談等は行っていない。

(2) 年間行事の振り返り

コロナ禍で何ができるかと三丁目すまいる保育と連携し、保護者参加の行事をおこなうことはありませんでした。保育者と子どもとの行事を計画し一週間の行事週間として子どもと作り上げたものになりました。

夏祭りでは、幼児中心に会場を塗り絵や夏の花で未満児の午睡時間中に作り上げました。当日は浴衣を家庭で用意していただき、ファッションショーをしたりたこ焼き屋・かき氷と夏まつりの気分を味わいました。おみこしへは写真や姉妹園の行事の様子を動画で見てイメージを付けてもらい当日の会場で保育者と一緒に担ぎました。子どもたちが浴衣で変身することに楽しさを感じていたので、ハロウィンでは三丁目すまいる保育園の保護者会役員さんの協力もあり家庭で用意していただいた仮装衣装を着て地域を散歩する様子を動画で録画していただき、各子どもたちにDVDとして配布していただきました。三丁目すまいる保育園の卒園児の保護者が協力し、玄関から保育室と飾りつけをして頂きました。子どもの喜ぶ姿を見られ良かったです。と楽しみながら行ってくれた保護者の方もおりお互いの思いを共有できたと思います。



夏祭りの様子



給食・食育運営状況

食育活動では、毎月様々な形で、食材に触れたり、時には実際にエプロン・三角巾・マスクをつけクッキングも行った。月々の旬の食材を意識し、皮むきや、洗浄などで本物の食材に触ることで、匂いや感触を感じることが出来た。また屋上の畑で野菜を育てコロナで自肅中野菜の育つ姿を、キッズリーで伝えてきた。

また、食事中の子どもたちの様子をしっかりと見守るために、「食事中の心がけ」を見ながら食事の介助、見守りを行っている。見守り方を共有することで、姿勢や足の位置、を意識することができ、誤飲防止、事故防止、に繋がっている。

(3) 保健に関する実施結果

園児健康診断	7月7日と11月17日の2回実施
歯科検診	9月16日の1回実施
保健だより	毎月家庭数配布
職員健康診断	年1回
職員検便	毎月、乳児担当、厨房担当実施
流行した感染症	・胃腸炎や風邪など季節ごとに感染する子どもは見られたが、大きく広がってしまうことはなかった。

	・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、国の指針に基づき対応をする。
その他、保険に関する取組	8月29日・9月5日、10月24日普通救命救急講習受講 8月14日、15日と3月30日、31日に厨房設備の害虫駆除実施 希望する職員にインフルエンザの予防接種

(4) 安全対策

ア 防災対策

1. 避難訓練等実施状況

実施日	訓練内容	消防署立会	消防署届出	その他
4月15日（水）	地震・火災・消火	無	無	
5月15日（金）	地震・火災・消火	無	無	
6月15日（月）	地震・火災・消火・通報	無	有	水消火器訓練
7月15日（水）	地震・火災・消火	無	無	
8月18日（火）	地震・火災・消火	無	有	
9月15日（火）	地震・火災・消火	無	無	
10月15日（木）	地震・火災・消火・通報	無	有	水消火器訓練
11月14日（金）	地震・火災・消火	無	無	
12月15日（金）	地震・火災・消火	無	無	
1月15日（金）	地震・火災・消火	無	無	
2月15日（月）	地震・火災・消火	無	無	
3月15日（月）	地震・火災・消火	無	無	

2. 非常災害備品の設置

災害用ヘルメット、4人乗り散歩車

3. 侵入者、不審者訓練

玄関の施錠時間の徹底

三丁目公園での不審者対応

4. 実施した環境整備の状況

・「遊・食・寝」を独立して行える環境にすることを意識し、環境設定を行った。今年度は19名が1階保育室で過ごし、子どもたちが自由に回遊できる導線にすることで、食べる、遊ぶ、寝るの流れが、子どもたち一人一人の主体的な動きから自然に見られるようになり、自立心に繋がっていると感じている。

幼児は未満児の午睡時間に微細遊びや製作を行えるような環境設定をすることでじっくり遊びに集中する姿が多く見られた。

3階保育室で、運動コーナーを設置し、いつでも遊べる環境にした。屋上で冬の時期にマラソンを行った。

地域との関わり

市、自治会への参加

- ・毎月第一日曜日に複数名の保育士で地域清掃・ラジオ体操に参加

保育園発信の活動

- ・ハロウィン、伝承遊びウィークの行事を開催するにあたり、地域に手紙を配布した。

公益的な取り組み

- 「つながる相談窓口」開設　　ステッカー、のぼりの設置　　「衣類バンク」

保育年間計画の可視化

可視化して保護者に掲示

7. 危機管理

- ・毎月安全WTによるヒヤリハットの分析を行う。リスクの高い事例に関しては、具体的な対策などを話し合って次の事故防止に努めた。
- ・気づきボードを設置し、保育者一人一人が小さなことに気づき、声を上げることによって、安全な環境づくりにつなげる。
- ・子どもの興味のある遊びに合わせ環境を整えることで、欲求を満たし、子どもたち自身の安全力を高めていった。
- ・他園で起きた事故事例を確認し、注意喚起を行うとともに、自分での対応などを話し合った。
- ・誤飲事故を防ぐために、「食事中の心掛け」を共有し、食事の見守り方を徹底した。
- ・屋上にあるスマイル湖が水に濡れると滑りやすくなる為、人工芝を敷いた。

8. 職員研修(園内研修)

【令和2年度 内部研修実績】

実施日	研修内容	参加人数
6月 27 日	・チャイルドフッドラボ 藤原里美先生 多様な子どもたちの発達支援	24名
7月 18 日	・合同園内研修（通達、委員会発表・Z o o mにて） すまいる保育園10のコツ、自己評価の気付き、グループディスカッション	32名
8月 29 日	・普通救命救急	5名
9月 3 日	・新型コロナウイルス感染症下における保育を考える	3名
9月 5 日	・普通救命救急 ・チャイルドフッドラボ 藤原里美先生事例対応・マルトリートメント	7名
9月 26 日	・茂井先生によるZ o o m研修・事例対応、虐待、人権、保護者対応、研修報告	29名
10月 24 日	・S I D S, 嘔吐処理、オムツ替えの方法、いのちのリスト、保育について、書類、環境整備 ・普通救命救急	23名
11月 14 日	・マニュアルの確認、ポートフォリオ、書類	25名
12月 12 日	・アップデート版CCW講習・ヒヤリハットディスカッション、子どもの人権、環境	27名
1月 31 日	・井上先生による環境づくり	10名
2月 13 日	・合同園内研修（通達、委員会・Z o o mにて）、各園の取り組み報告	23名
2月 20 日	・井上先生による環境づくり	26名
6月 22 日	・スッキリ会（連絡の仕方・内線の取り方・C H S・アレルギーや持病のある子どもの情報共有・保護者対応・新しい生活様式について）	8名
1月 18 日	・スッキリ会（ヒューマンエラーについて）	20名
実施日	研修内容	参加人数
6月 27 日	・チャイルドフッドラボ 藤原里美先生 多様な子どもたちの発達支援	24名
7月 18 日	・合同園内研修（通達、委員会発表・Z o o mにて） すまいる保育園10のコツ、自己評価の気付き、グループディスカッション	32名
8月 29 日	・普通救命救急	5名
9月 3 日	・新型コロナウイルス感染症下における保育を考える	3名
9月 5 日	・普通救命救急 ・チャイルドフッドラボ 藤原里美先生事例対応・マルトリートメント	7名
9月 26 日	・茂井先生によるZ o o m研修・事例対応、虐待、人権、保護者対応、研修報告	29名
10月 24 日	・S I D S, 嘔吐処理、オムツ替えの方法、いのちのリスト、保育について、書類、環境整備 ・普通救命救急	23名
11月 14 日	・マニュアルの確認、ポートフォリオ、書類	25名
12月 12 日	・アップデート版CCW講習・ヒヤリハットディスカッション、子どもの人権、環境	27名
1月 31 日	・井上先生による環境づくり	10名
2月 13 日	・合同園内研修（通達、委員会・Z o o mにて）、各園の取り組み報告	23名
2月 20 日	・井上先生による環境づくり	26名
6月 22 日	・スッキリ会（連絡の仕方・内線の取り方・C H S・アレルギーや持病のある子どもの情報共有・保護者対応・新しい生活様式について）	8名
1月 18 日	・スッキリ会（ヒューマンエラーについて）	20名

9. 外部研修

【令和2年度 外部研修実績】

実施日	研修名及び講師	研修内容	会場	参加人数
8月8日	NPO 法人保育子育てアドバイザー講習会・根ヶ山氏	子育ては親子の主体性のせめぎ合い	Zoom	1名
	NPO 法人保育子育てアドバイザー講習会・西田氏	データに基づく子どもの事故予防の実践	Zoom	1名
8月9日	NPO 法人保育子育てアドバイザー講習会・岡本先生	異文化の保育・幼児教育から捉え直す子どもの姿	Zoom	1名
	NPO 法人保育子育てアドバイザー講習会仲氏	子どもから何があったかを聞く技術	Zoom	1名
	NPO 法人保育子育てアドバイザー講習会・杉山氏	子どもの性格を理解し保育に活かす	Zoom	1名
7-12月	ドゥーラ	ドゥーラ	Zoom	1名
6月6日	藤原里氏・立石美津子氏	支援者として大切なこと	Zoom	1名
7月25日	須賀義一氏	子どもの人権と保育	Zoom	1名
8月30日	須賀義一氏	これから保護者支援	Zoom	1名
9月15日	子どもの文化学校	子どもたちとつくるインクルーシブ保育 ①AI・ロボット時代の子育てとは?	Zoom	1名
9月23-25日	主任保育士研修		となり のカフ エにて リモー ト	1名
9月28, 29, 30日	厚生労働省	新任保育所長	Zoom	1名
10月15日	埼玉県産業労働部	女性キャリア研修 ロジカルシンキングについて		1名
11月15日	大豆生田先生	倉橋先生がどんな人か?	Zoom	1名
11月17日	子どもの文化学校	子どもたちとつくるインクルーシブ保育 ②一人ひとりの響き合いが命を輝かせる	Zoom	1名
11月30日～ 2月12日	ポピングズ	令和2年度企業主導型保育事業 施設長研修	E ラー ニング	1名
12月15日 2月25日	児童育成協会	令和2年度企業主導型保育事業 保育安全研修	Zoom	1名
3年3月 日	汐見稔幸氏	21世紀型の保育へ	Zoom	1名
3月 日	汐見稔幸氏	保育の社会的な価値・保護者への意識	Zoom	1名
3月 日	汐見稔幸氏	子ども主体の保育前編・後編	Zoom	
2月26日	今井孝成氏	保育所等におけるアレルギー疾患に対する普及啓発講習会	Youtube	1名

【令和2年度 キャリアアップ研修実績報告書】

実施日	研修内容	研修場所	参加人数
12月3・4日	食育・アレルギー対応	ウェスタ川越	2名
11月7.2日	保健衛生・安全対策	Zoom	2名
12月21.22日	乳児保育	行田市商工センター	1名
1月18・19日	保護者支援・子育て支援	行田市商工センター	1名
1月9・12日	マネジメント	行田市商工センター	1名

10. 苦情解決のうち報告すべき事項

- ご意見箱や口頭、連絡帳等で寄せられた全ての意見、要望、苦情については、原則「苦情対応体制」に従い個別に対応した。
- ケースに応じて、法人本部に報告・相談し、指示を仰ぎながら対応した。